

いなベグリーン・ツーリズム推進に向けた
市民意向アンケート調査
報告書

いなベグリーン・ツーリズムモデル地区推進計画策定委員会
平成27年2月18日

目次

I 調査概要	-----3
II 調査結果	-----4
1. 回答者の属性	
(1) 性別他	-----5
(2) 世代構成	-----6
(3) 家族構成	-----7
(4) 居留意向	-----8
2. 地域の良いところ・課題	
問6 地域のよいところ 資料:各地区の結果	-----9
問7 地域の課題	-----12
3. 地域を盛り上げていく活動について	
問8 興味のあること	-----16
問9 参加形態	-----20
問10 地域の活性化に期待する活動	-----22
問11 出資意向・取組の要件	-----26
問12 取組の要件	-----27
4. いなべ市の観光資源などについて	
問13 地域の魅力 紹介したいこと	-----29
問14 地域に伝わる自慢の料理など	-----37
問15 昔の在来野菜など	-----40
5. 自由意見	-----42
III データ集:数表	-----49

1. 調査目的 いなべグリーン・ツーリズムモデル地区推進計画策定において、グリーン・ツーリズム推進の前提となる地域の課題や活性化に関する地域住民の意向を把握することを目的として、5箇所のモデル地区(古田、篠立、鼎、川原、二之瀬)を対象に調査を行う。

2. 調査概要

- (1) 調査対象 いなべ市・古田・篠立・鼎・川原・二之瀬の5地区の全世帯 各世帯2部配布

	古田	篠立	鼎	川原	二之瀬
配布世帯 (配布部数)	75世帯 (150部)	160世帯 (320部)	54世帯 (108部)	145世帯 (290部)	60世帯 (120部)
回収数 (回収率)	102部 (68%)	232部 (72%)	74部 (68%)	222部 (76%)	73部 (60%)

■有効回答数=703サンプル 一部記載漏れや様式に沿った記載でない場合も、設問内で有効な回答は回答として含めた。

- (2) 調査方式 自治会配布による自記入式アンケート・定量調査
- (3) 調査期間 2014年11月21日～12月31日
- (4) 実施機関 いなべグリーン・ツーリズムモデル地区推進計画策定委員会
- (5) 調査機関 一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構

3. 留意事項

- ・調査地区により、サンプル総数にばらつきがあるため、票数の少ない地区の場合は少数票でも地区全体の傾向として結果に表れる場合がある。
- ・世帯に2通を配布し、夫婦でそれぞれ記載しているものの、同意見になる傾向が見られる。
- ・2～3世代の家族構成に対して2通のアンケート用紙が配布されているため、アンケート記載者と実際のGT活動に参加する層が異なるケースもある。

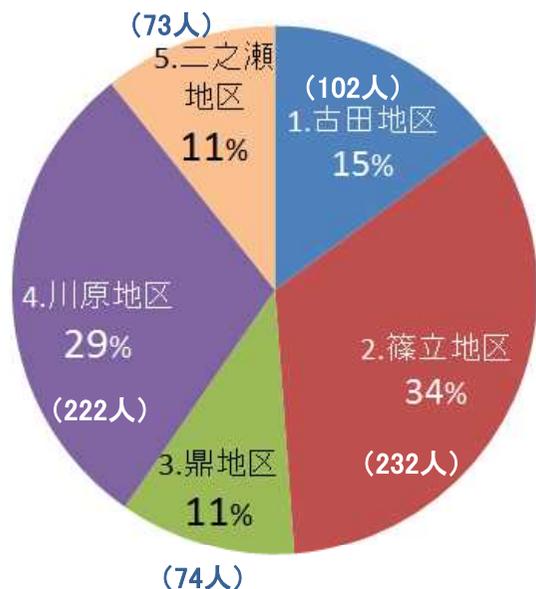
Ⅱ. 調査結果

1.回答者数

問1

あなたの性別をご記入ください。

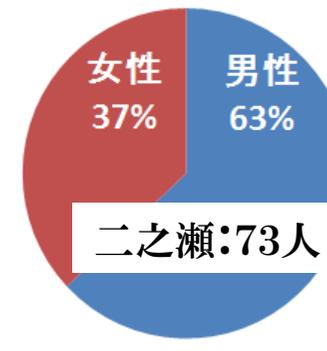
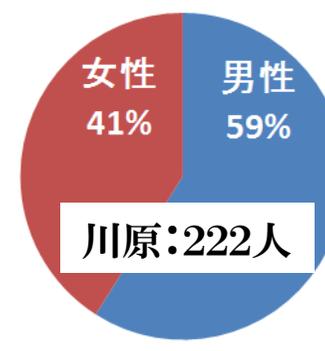
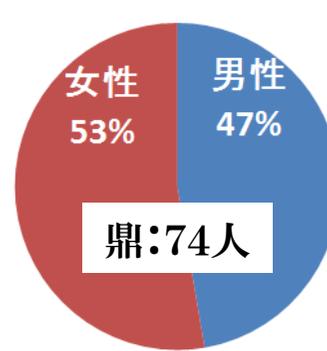
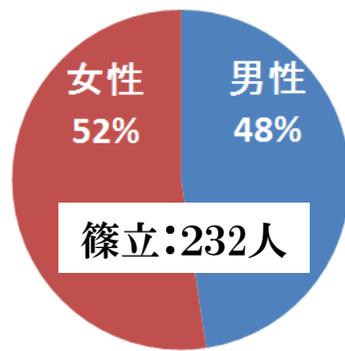
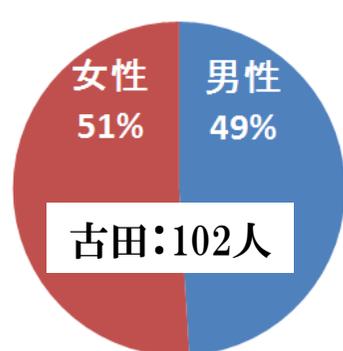
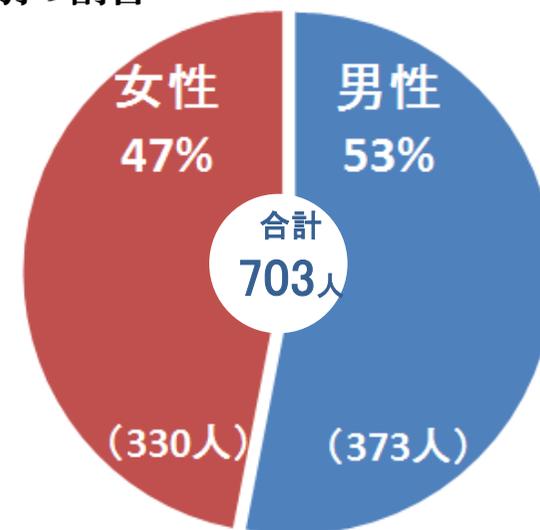
①各地区の回答者数



(単位:人)

	男性	女性	合計
1.古田	50	52	102
2.篠立	111	121	232
3.鼎	35	39	74
4.川原	131	91	222
5.二之瀬	46	27	73
合計	372	330	703

②性別の割合

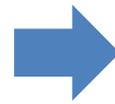
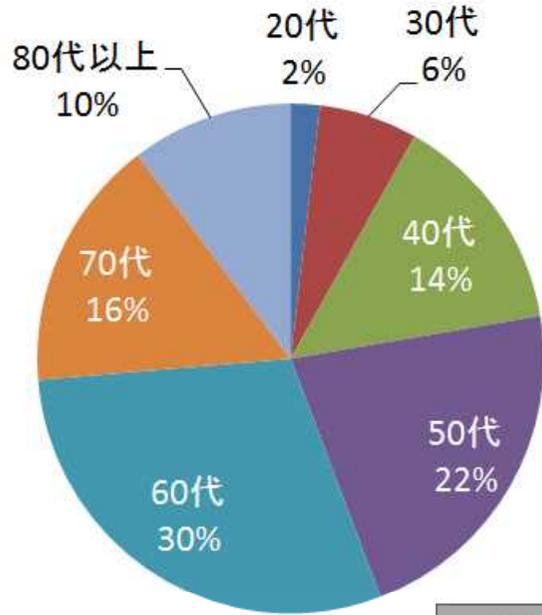


回答者は、篠立・川原地区が200名以上で全体の6割をしめる。鼎・二之瀬地区は70名程度で地域差がある。性別の割合はほぼ半々程度。

※鼎・二之瀬の回答者数は回答者が多い地域の1/3程度となるため、各地域の傾向の比較においては少数意見でも傾向に影響することを考慮し、結果を捉えることが求められる。

2.世代構成

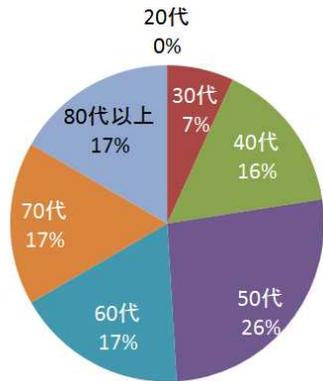
問2 あなたの年齢をご記入ください。



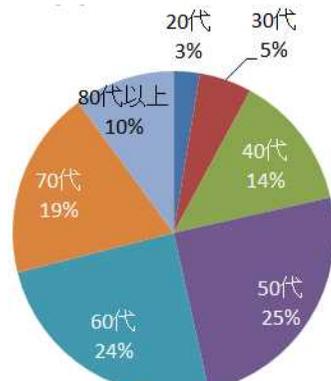
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	(単位:人)
1.古田	0	7	16	27	18	17	17	102
2.篠立	6	12	31	57	56	43	23	228
3.鼎	1	3	6	13	24	16	11	74
4.川原	5	19	33	40	73	32	20	222
5.二之瀬	1	3	13	16	35	4	1	73
合計	13	44	99	153	206	112	72	699

※篠立地区4名に年齢の記載漏れあり

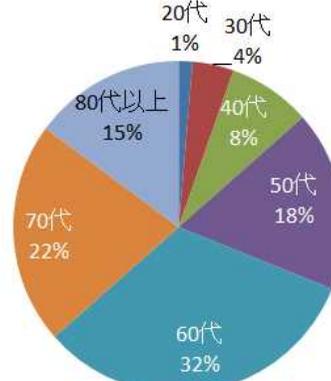
問3 あなたがお住まいの地域（自治会名）をご記入ください。



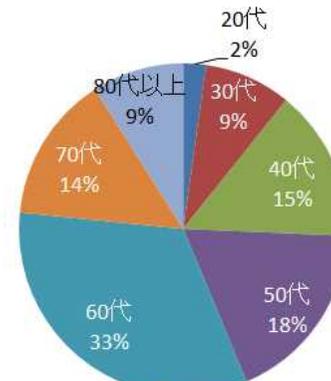
古田:102人



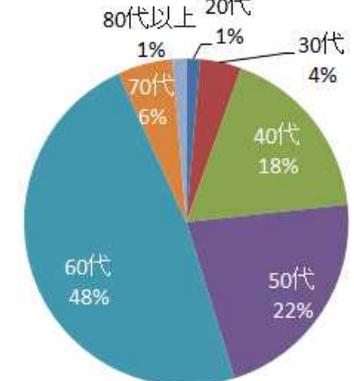
篠立:228人



鼎:74人



川原:222人



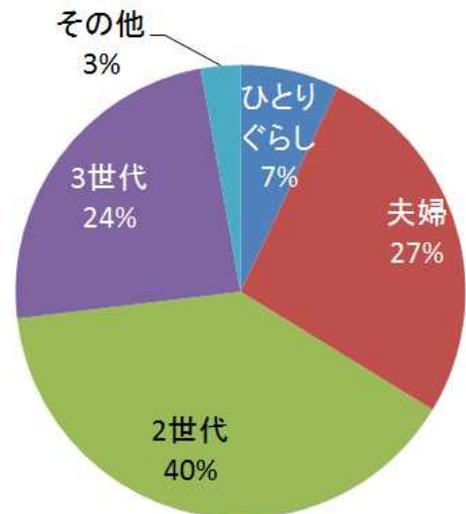
二之瀬:73人

世代構成は、40代～80代までで全体の8割以上を占め、GTの中核となる50～60代は半数を占める。地区別では二之瀬・川原地区が比較的若い層が集まる地区となっている。

※アンケートの記載が、各世帯の夫婦にお願いしていることから、2～3世帯の家庭でアンケートを記載した方がどの世代によるかで、記載者の世代が特定されることから、一概に記載内容で地区の世代構成の傾向が判断できるものではない。

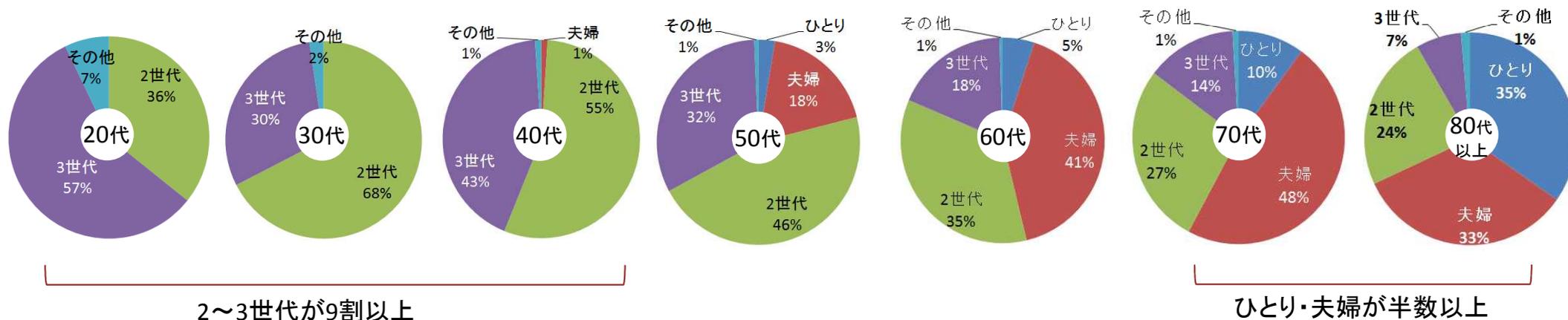
3. 家族構成

問4 あなたの家族構成をご記入ください。(○は1つ)



(単位:人)

	夫婦のみ	2世代	3世代	ひとり暮らし	その他
1.古田	27	50	13	10	2
2.篠立	61	99	50	17	5
3.鼎	37	10	17	8	2
4.川原	45	80	71	15	9
5.二之瀬	17	36	18	0	2
合計	187	277	169	50	20



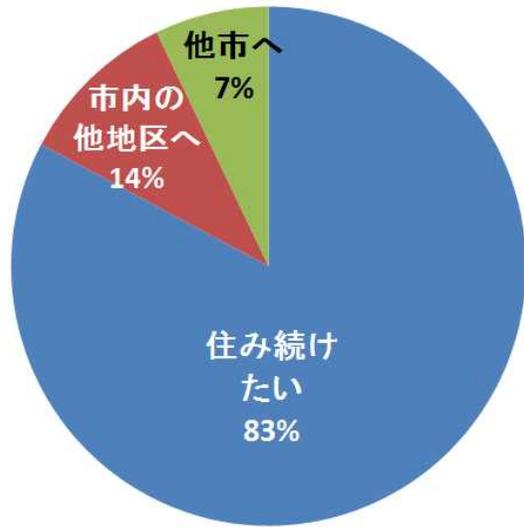
家族構成は、2世代が40%で最も多く、夫婦27%、3世代24%。各地区の構成比もほぼ変化はない。一方で、世代ごとの家族構成をみると、40代まではほぼ2～3世代、高齢になるほど夫婦・ひとりが増加し、70代以上ではひとり・夫婦の構成比は半数を超える。

※一般の傾向としてひとり暮らし、若年夫婦のみの場合はアンケートに記載する方も少ない。

4.居住意向

問5 あなたは、これからも現在の場所に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

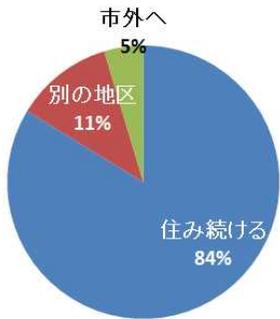
(単位:人 / (%))



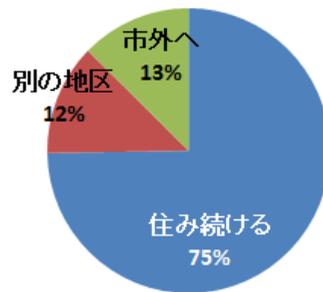
	ずっと住み続けたい	市内の別の場所へ移り住みたい	市外に移り住みたい
1.古田	81(82%)	10(10%)	9(8%)
2.篠立	184(81%)	27(12%)	16(7%)
3.鼎	59(88%)	5(7%)	3(5%)
4.川原	183(82%)	19(9%)	20(9%)
5.二之瀬	60(86%)	8(8%)	2(3%)
合計	567人	69人	50人

- ・桑名市 5人
- ・名古屋市 4人
- ・四日市市 2人
- ・北勢町 2人
- ・東員町 2人
- ・菰野町
- ・川越市
- ・今後わからない
- ・病院とスーパーが近くにありたい
- ・利便の高いところ

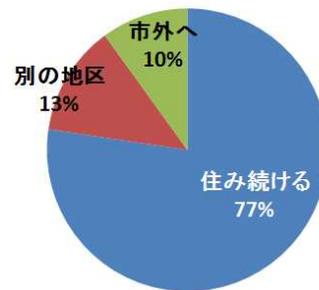
居住意向(30代)



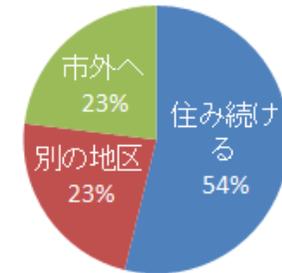
居住意向(40代)



居住意向(50代)



居住意向(20代)



〔参考〕
20代のサンプル数は13名ではあるが、半数近くが市外や別の地区へ住みたいと答えている

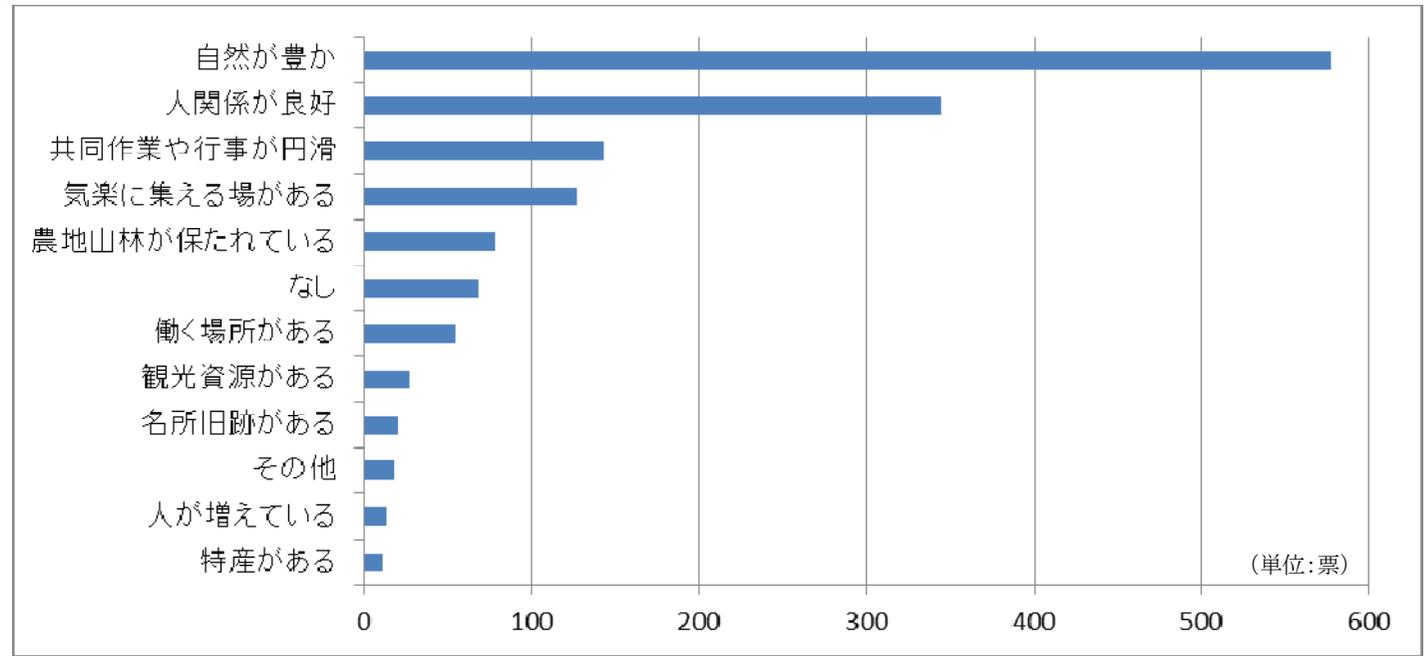
いなべ市への居住意向は、各地区を通じて8割以上が、「ずっと住み続けたい」と思っている。世代別で見ると、40代、50代では、「他の市へ移りたい」層が1割代になる。

※30代は2～3世代の家族構成が98%となり、家族の中核がまだ本人へ移行していないため、他地域への居住意向があっても主張できない立場であるとも考えられる。

問6 地域の良いところについてお答えください。(〇は3つまで)

(単位:票)

1. 自然が豊かである
2. 働く場所がある
3. 地域内の人間関係が良好である
4. 気楽に集えるところがある
5. 共同作業や行事がスムーズに行なわれている
6. 新たな住人が居る(増えている)
7. 特産物・特産品がある
8. 名所旧跡がある
9. 観光資源(温泉や公園など)がある
10. 農地や山林がきれいに保たれている
11. その他(
12. 特になし

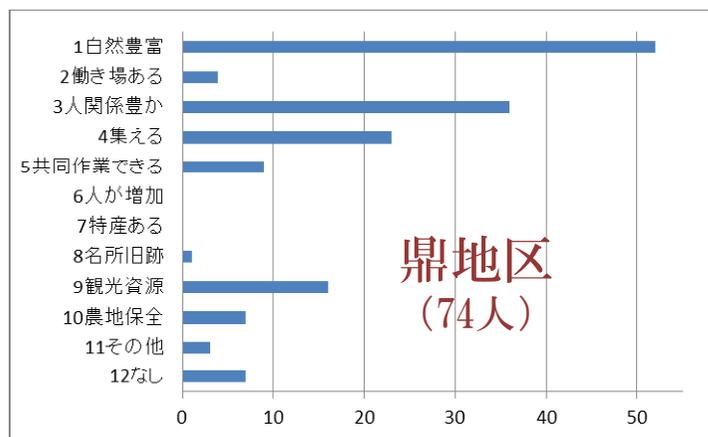
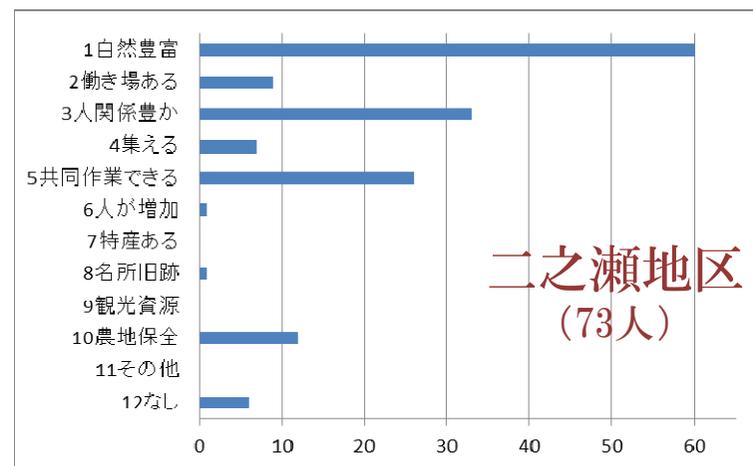
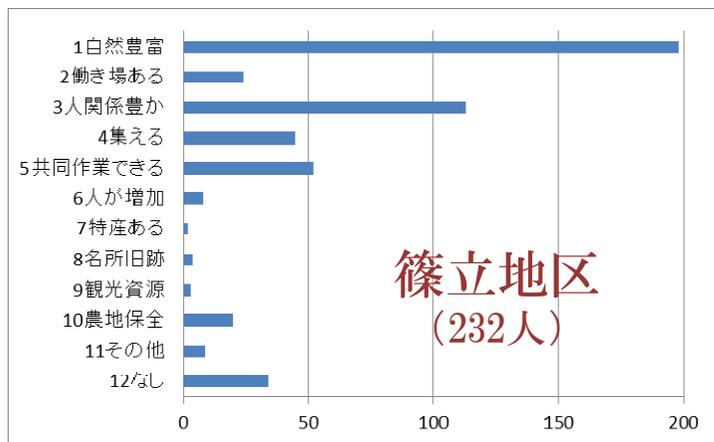
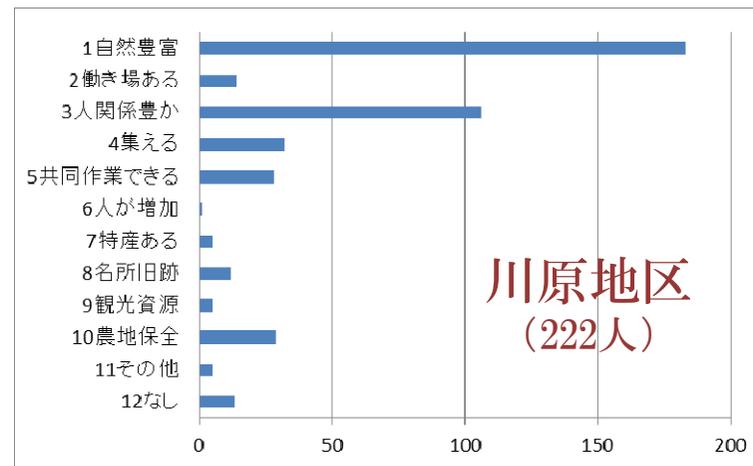
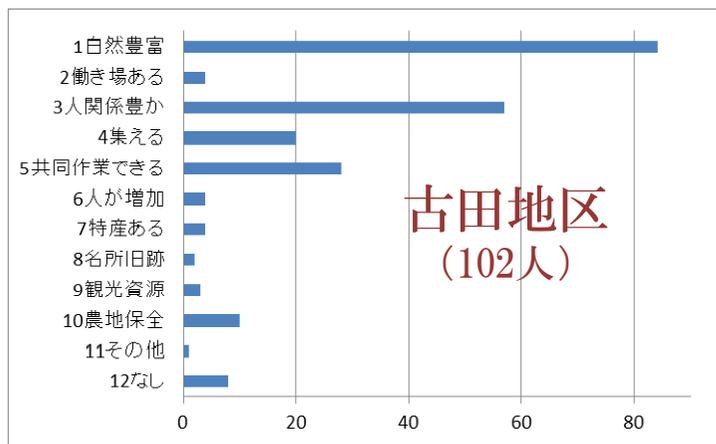


(単位:票)

(単位:票)

	自然豊か	働き場がある	人間関係良好	気楽に集える	共同作業がスムーズ	新たな住人がいる	特産品がある	名所旧跡がある	観光資源がある	農地・山林保全されている	その他	なし
1.古田	84	4	57	20	28	4	4	2	3	10	1	8
2.篠立	198	24	113	45	52	8	2	4	3	20	9	34
3.鼎	52	4	36	23	9	0	0	1	16	7	3	7
4.川原	183	14	106	32	28	1	5	12	5	29	5	13
5.二之瀬	60	9	33	7	26	1	0	1	0	12	0	6
合計	577	55	345	127	143	14	11	20	27	78	18	68

地域の良いところは、自然資源と人柄(人間関係の豊かさ)への評価が各地区とも高い。一方で、観光資源や特産・名所旧跡などの、“場所・モノ”といった物理的な資源への評価は少ない。



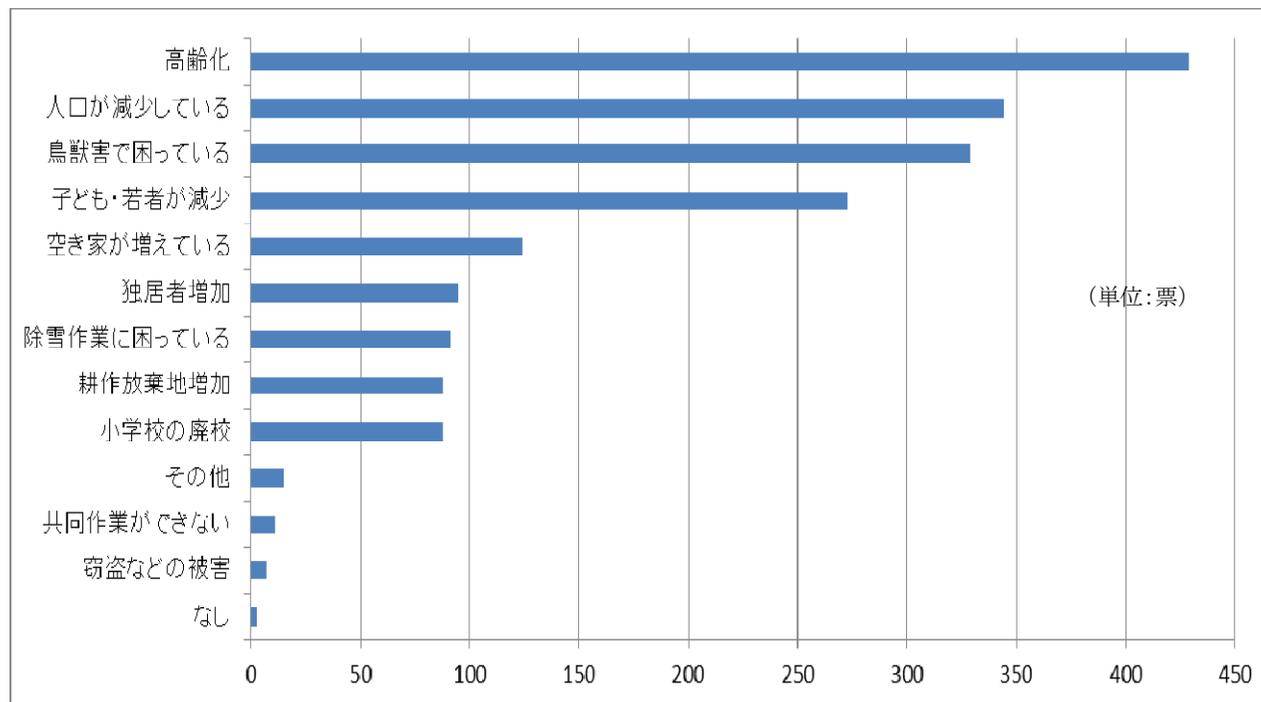
地区ごとの評価にあまり差は見られない。
観光資源はほとんどの地区は挙げられていないが
鼎地区では16票があげられている。

- 過去から現在までには山村留学生など他地域からの家族の受け入れを積極的に行っていた
- 水がわいている
- 地域行事がある。盆踊り、秋祭りなど
- 畑へ行って土をいろいろ楽しむことができる。
- 自然環境がよく危険が少ない
- 地域を盛り上げる事が大好きな地区である
- 子育てには良い環境である。
- 静かな生活ができる。
- 空き家が増えている介護施設などの活用を見直す
- 生まれて住み続けているところだから
- 過疎化が進んでいる
- 冬は積雪が多い。夏はマムシなどがいる
- 他の地域との出入りが少なく治安が良い
- 高速のインターチェンジから遠くなく都会に出やすく将来性あり

問7

次の中から地域が抱えている課題を下の回答欄にお答えください。(3つまで)また、その課題を解決するためにはどの団体が取り組むと有効であるかお答えください。

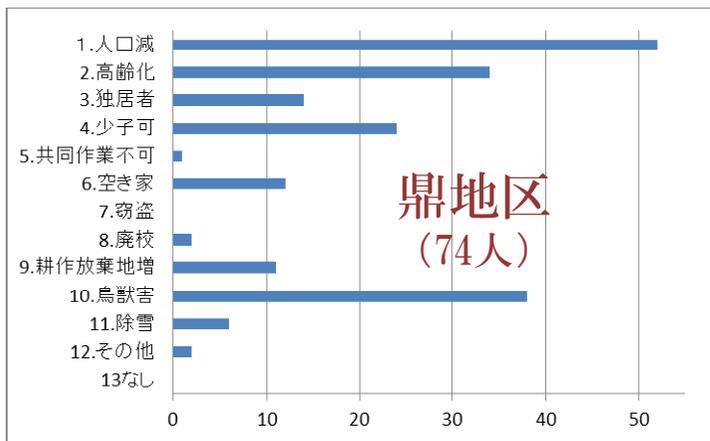
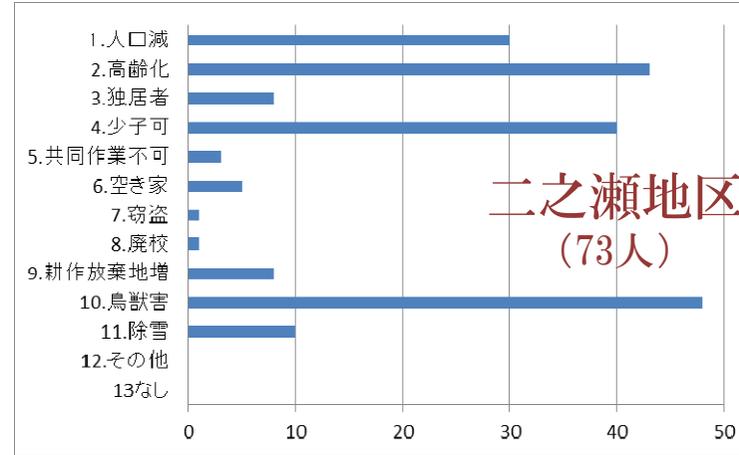
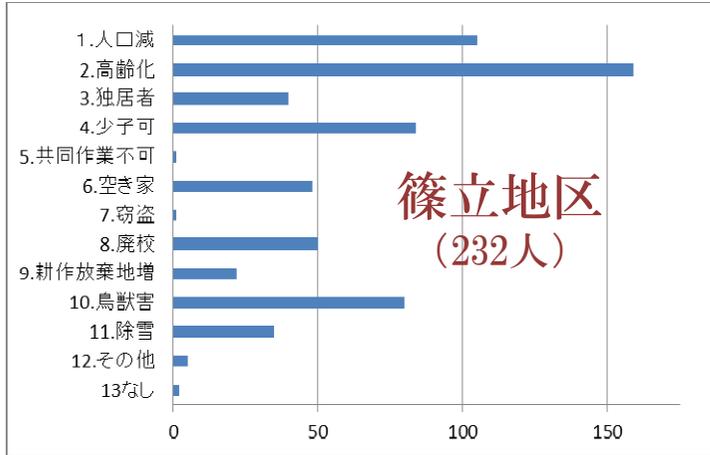
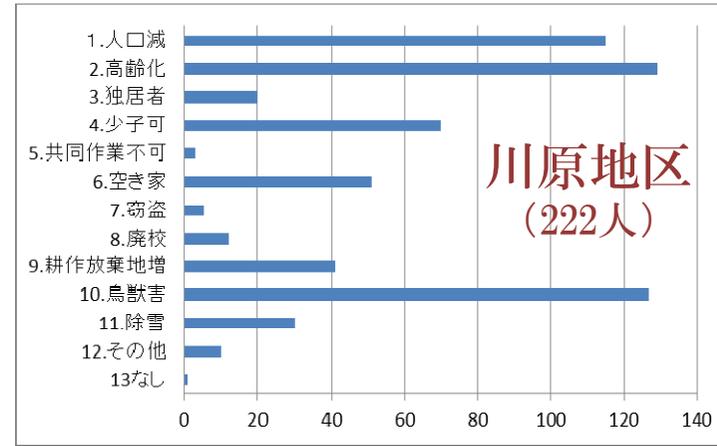
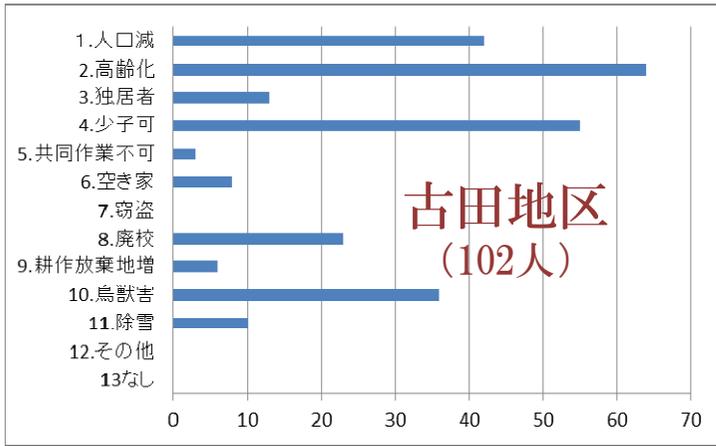
1. 集落の人口が減少している
2. 高齢化が進んでいる
3. 独居者が増えてきている
4. 子どもや若者(50歳まで)が少なくなってきた
5. 共同作業や行事が実施できない(草刈り、ごみ拾い、側溝清掃など)
6. 空き家が増えてきている
7. 窃盗(泥棒)などの被害
8. 小学校の廃校
9. 農地の耕作放棄地が増えてきている
10. 鳥獣害で困っている(追い払い、電柵維持修繕など)
11. 除雪作業に困っている
12. その他()
13. 特になし



(単位:票)

	1.人口減	2.高齢化	3.独居者	4.少子	5.共同作業 できない	6.空き家	7.窃盗	8.廃校	9.J耕作放 棄地	10.鳥獣害	11.除雪	12.その他	13.なし
1.古田	42	64	13	55	3	8	0	23	6	36	10	0	0
2.篠立	105	159	40	84	1	48	1	50	22	80	35	5	2
3.鼎	52	34	14	24	1	12	0	2	11	38	6	2	0
4.川原地	115	129	20	70	3	51	5	12	41	127	30	10	1
5.二之瀬	30	43	8	40	3	5	1	1	8	48	10	0	0
合計	344	429	95	273	11	124	7	88	88	329	91	17	3

地域の課題は、高齢化、人口減少、鳥獣害、少子化と続く。特に高齢化はもっとも大きな課題として意識されている。地域固有の課題としては、鳥獣害対策があげられている。



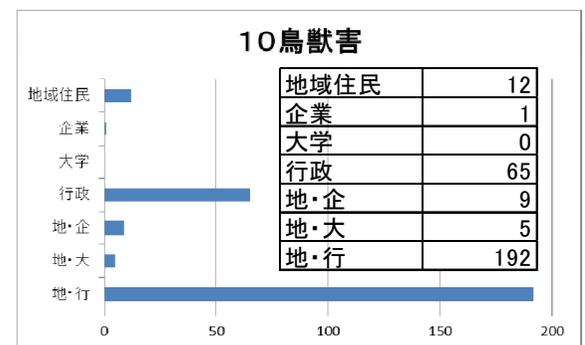
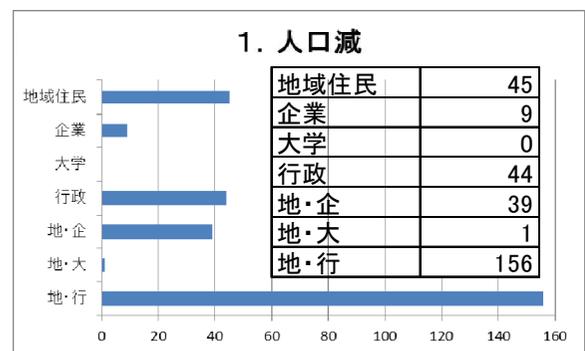
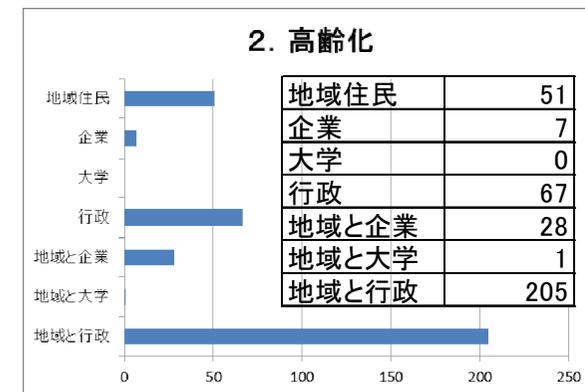
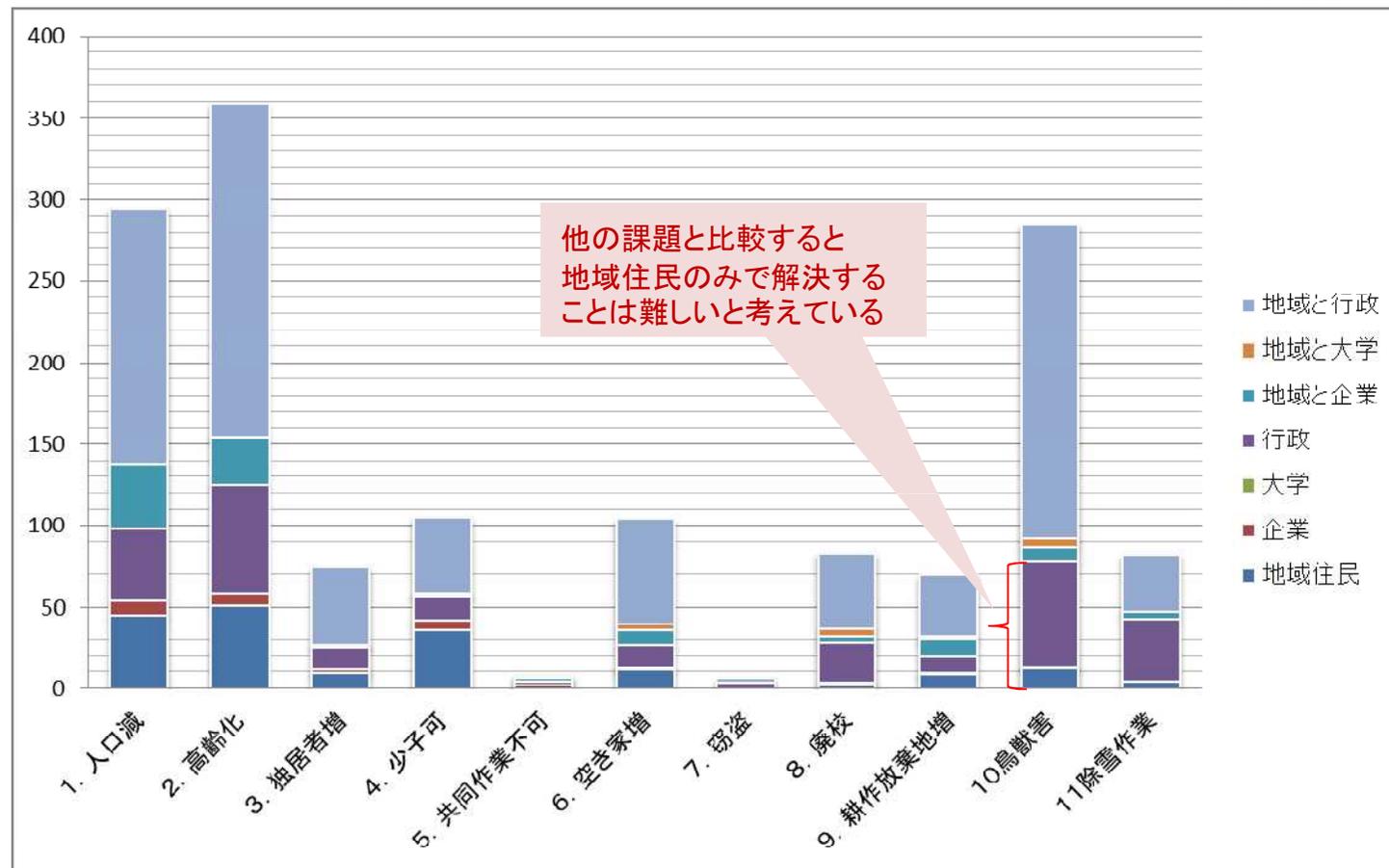
地区ごとにみると、少子高齢化・人口減少などはほぼ変化ないが、鳥獣害を見ると、二之瀬・川原鼎は半数以上が支持する課題となっている。

番号

取り組む団体 (○は1つ)

地域住民 ・ 企業 ・ 大学 ・ 行政

地域住民と企業 ・ 地域住民と大学 ・ 地域住民と行政



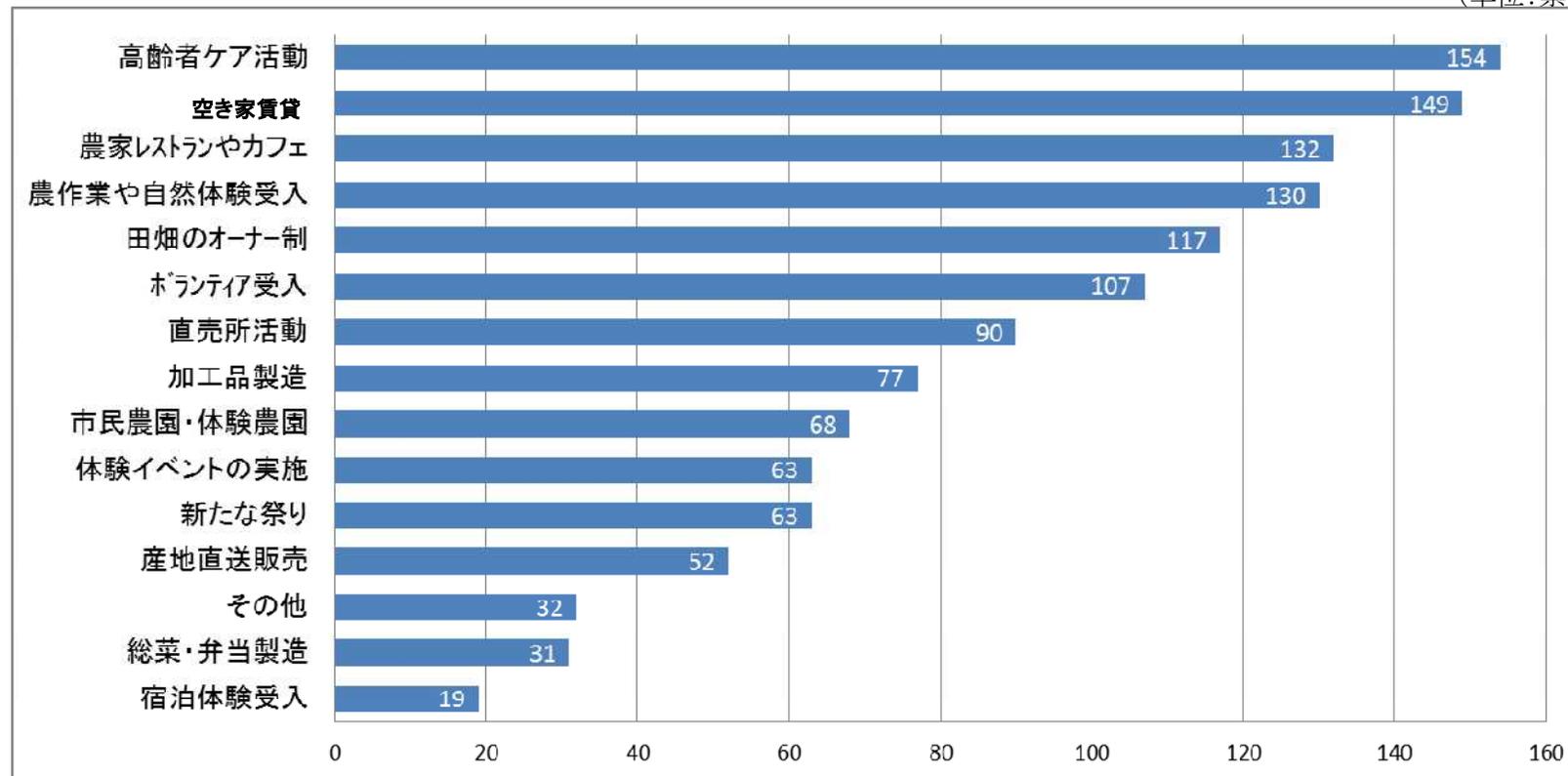
各地域課題へ取り組むべき団体は、地域と行政が一体となって取り組むことへの認識が高く“地域住民が取り組むべき”という意見も多く見られる。鳥獣害については、地域住民で解決することは難しいと考える傾向が見られる。

- 交通手段
- 雑木林などの管理が不十分のため折枝、倒木などで通行ができなかったり、道や隣地に覆いかぶさって日が当たらない
- 鹿による事故
- 子供達の交通に不便
- 放置された竹林や木が倒れそうで危険

問8 以下の選択肢の中で、**あなたが**興味のあることについてお答えください。(〇は3つまで)。

1. 農作業体験や自然体験などの受入れ
2. 宿泊体験の受入れ
3. 農産物の直売所活動(日曜市や軽トラ市など含む)
4. 農産物の産地直送販売
5. 市民農園・体験農園・観光農園
6. 体験型イベントの実施
7. 農家レストランや農村カフェ(そば屋、菓子屋等も含む)
8. 地場の農産物を活用した加工品製造
9. 地場の農産物を活用した総菜や弁当製造
10. 空き家の賃貸
11. 高齢者のケア活動
12. 田・畑のオーナー制度
13. 農作業や、山竹林保全等のボランティアの受入
14. 新たな地元のお祭り(収穫祭や運動会)の開催
15. その他(

(単位:票)

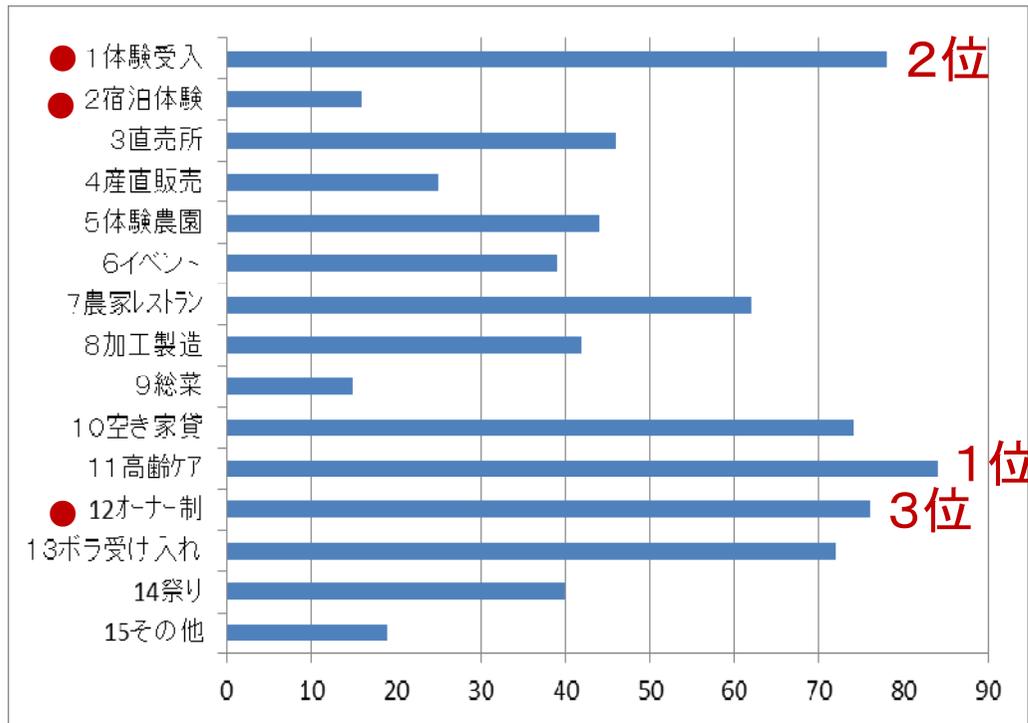


「高齢者ケア活動」や「空き家賃貸」など生活の課題に密着した活動への興味が高い。
GTの要素としては、農家レストランや農作業受け入れなどがあげられている。

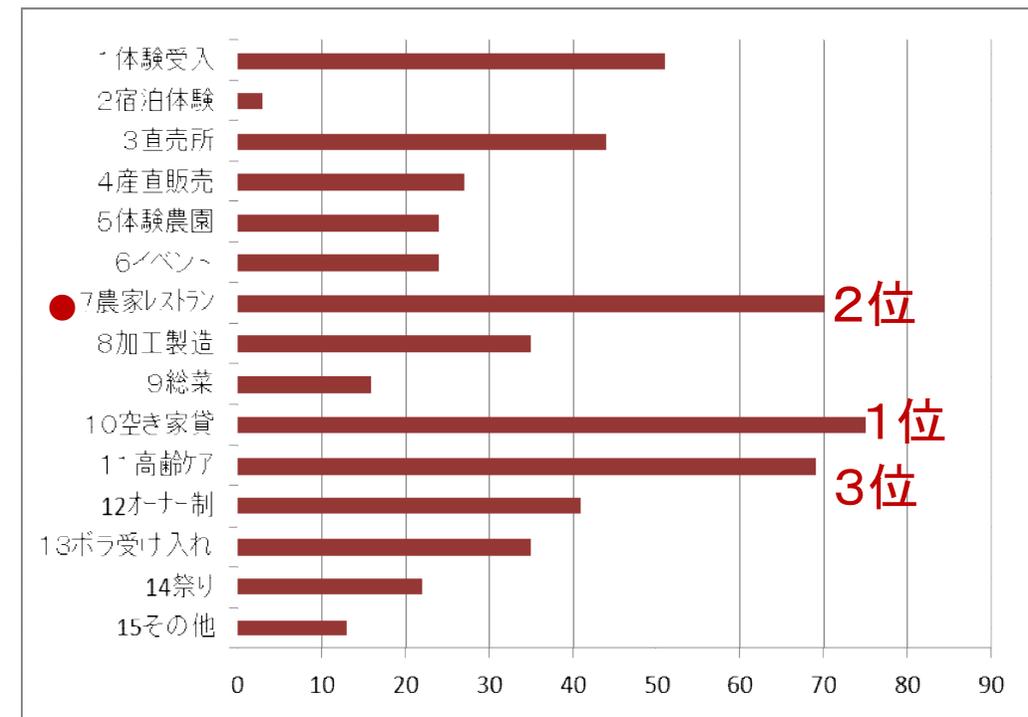
※この設問に至る前段階で、事前の設問で地域課題とその課題に取り組むべき団体について聞かれているため、“地域課題を解決するために興味があること”という意味合いで答えていることも考えられる。

	1体験受入	2宿泊体験	3直売所	4産直販売	5体験農園	6イベント	7農家レストラン	8加工製造	9総菜	10空き家賃貸	11高齢ケア	12オーナー制	13ボラ受け入れ	14祭り	15その他
男	78	16	46	25	44	39	62	42	15	74	84	76	72	40	19
女	51	3	44	27	24	24	70	35	16	75	69	41	35	22	13

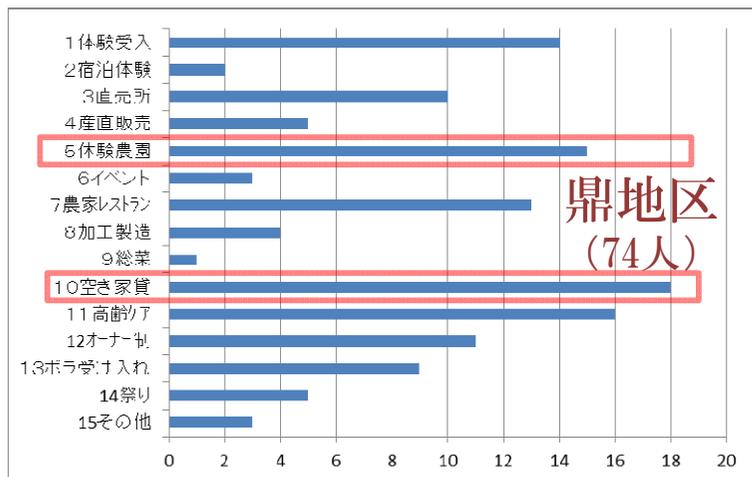
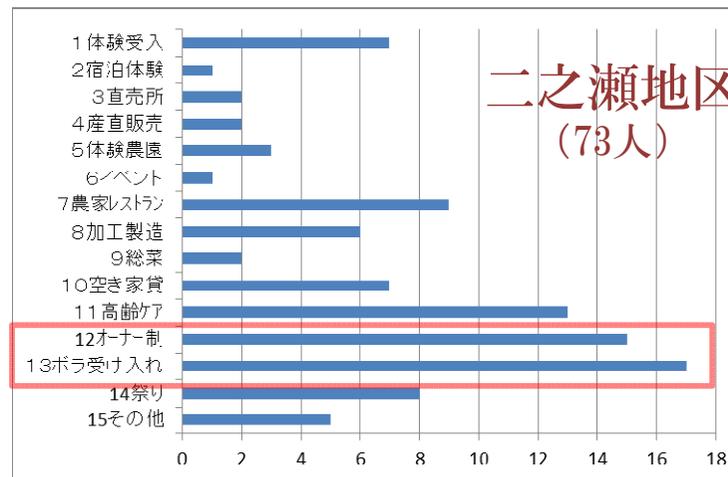
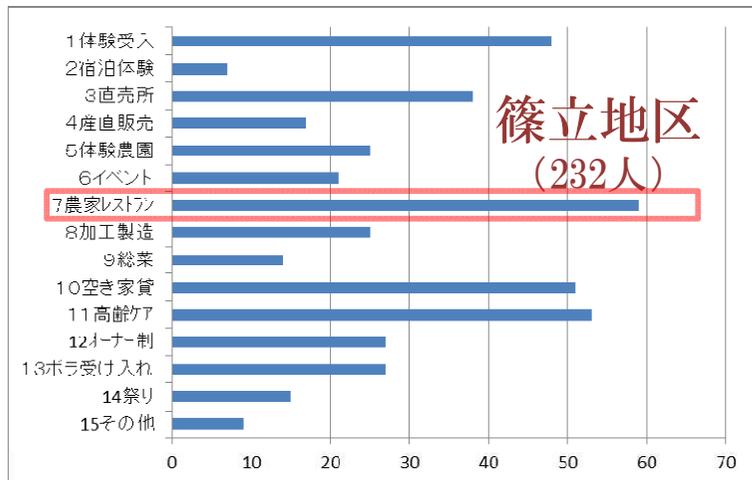
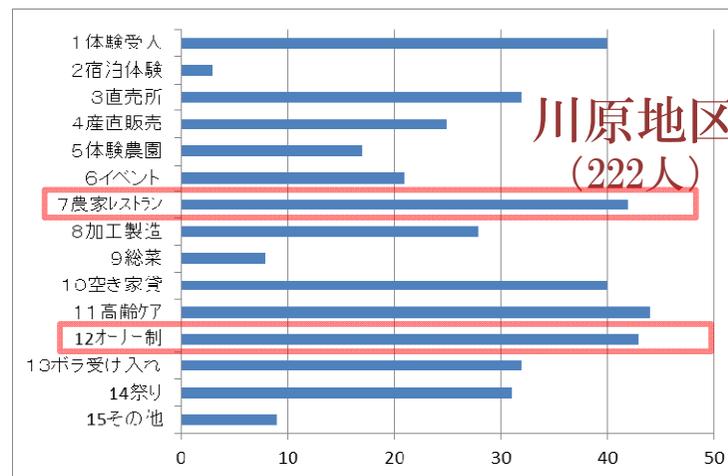
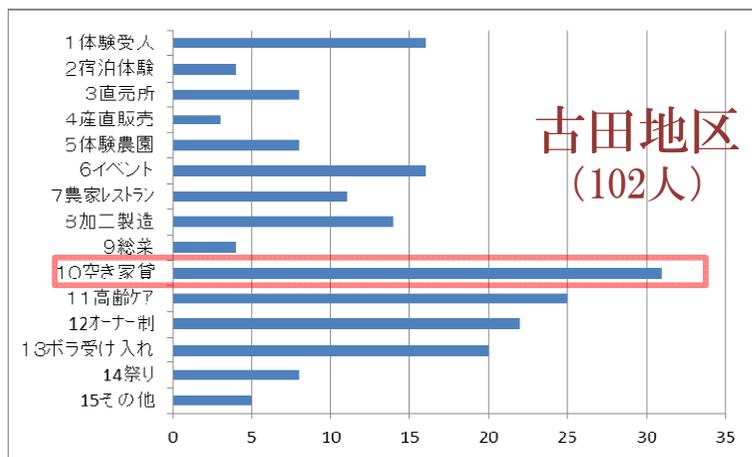
男性(総数:732票)



女性(総数:549票)



男女比では、高齢ケアや空き家賃貸などの生活課題では大きな差は見られないものの、交流型の体験になると、男性は体験受け入れ・イベント・オーナー制など“参加者と直にふれあえる場”を好み、女性は農家レストランなどに興味を示す傾向が見られる。



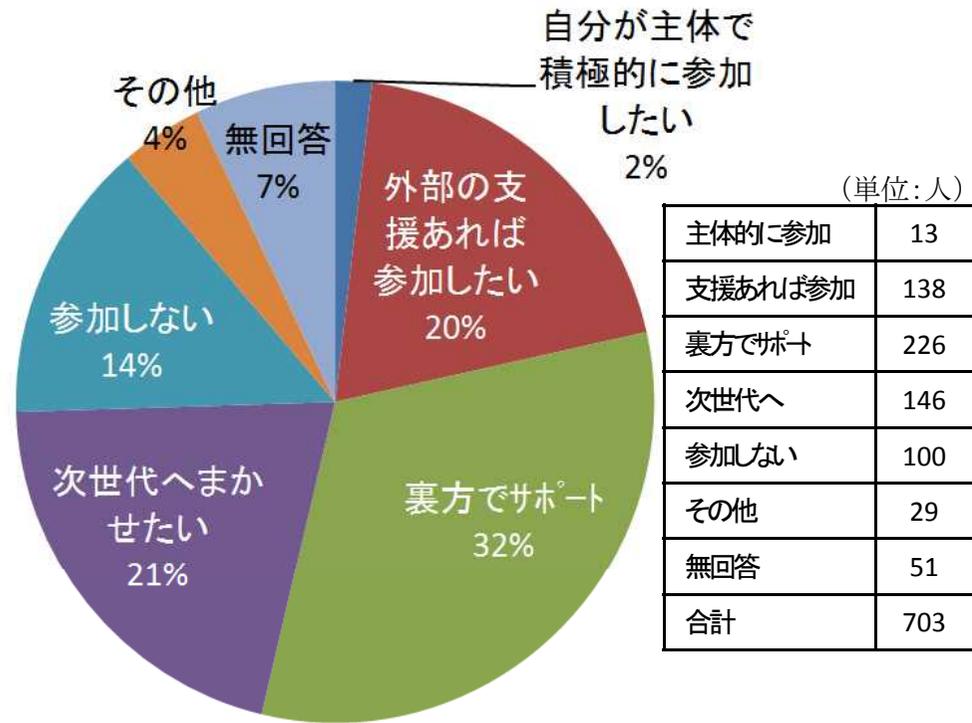
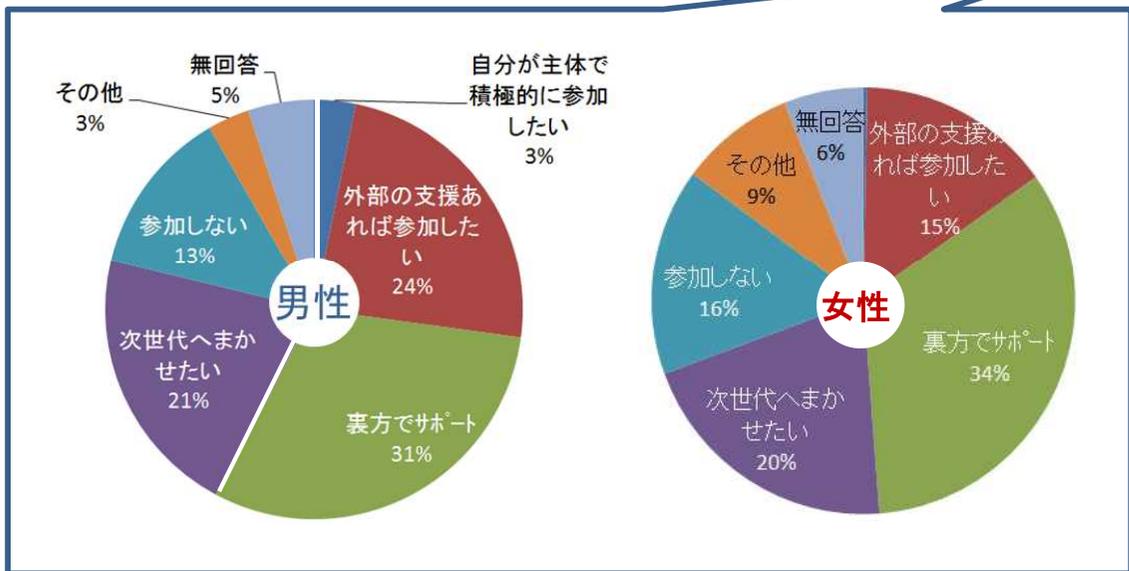
地区ごとに見ると、若干ではあるものの

- 空き家賃貸 → 古田・鼎地区
 - ボランティア受入 → 二之瀬地区
 - オーナー制 → 二之瀬・川原地区
 - 農家レストラン → 篠立・川原地区
 - 体験農園 → 鼎地区
- といった傾向が感じられる。

- 拘留孫岳と烏帽子岳の登山道の整備とピーアール
- 田畑を買っていただき農業の会社を興し暇のある人はボランティアで働く。他県から納税していただき、米など送る。
- 自分がいかに毎日が有意義に過ごせるかということで土と向き合っているのが一番。だから周りに目を向けるわけにはいきません。
- いままでの祭り、行事を守っていく
- ボランティアによる教育支援
- 上記の事柄は、全てどこかの地域、団体でやっている事なので、何か新たな事を考えた方がいいと思う。
- 農業的なものと文化的なものも平行して取り入れていく。
- 古田-細野(岐阜県) 奥越え登山道の整備
- 子育て世帯の積極的な受け入れ→定住につなげる活動
- 流通拠点の創出(誘致)、研究施設の誘致等
- 地区の改革
- 空き家を活用した高齢者介護 老々介護など
- 猪、鹿などの害獣を肉として資源にできないか？
- 広い領域からのデザイン、物づくりを実施する
- ドッグラン
- 特になし
- 太陽光発電など良いと思う

問8 今後地域でグリーン・ツーリズムを行うことになった場合、あなたは参加しますか。(回答は1つ。取り組むのは自分)。

1. 自分が主体となって、積極的に参加したい
2. 外部からの支援があれば、参加したい(行政、企業、学校など)
3. 裏方でサポートといった形で参加したい
4. 次世代にまかせたい
5. 取り組みたくない
6. その他()



“主体的・外部の支援があれば・裏方で参加”までを参加意向があると捉えると、全体では、約半数には何らかのカタチで参加する可能性がある。男性と女性を比較すると、女性は半数以下に対し男性は56%が参加意向がある。

※自由回答などを見ると、グリーン・ツーリズム経験が少ない方が多く、具体的な活動イメージを描けていないまま答えている方も多いと感じる。

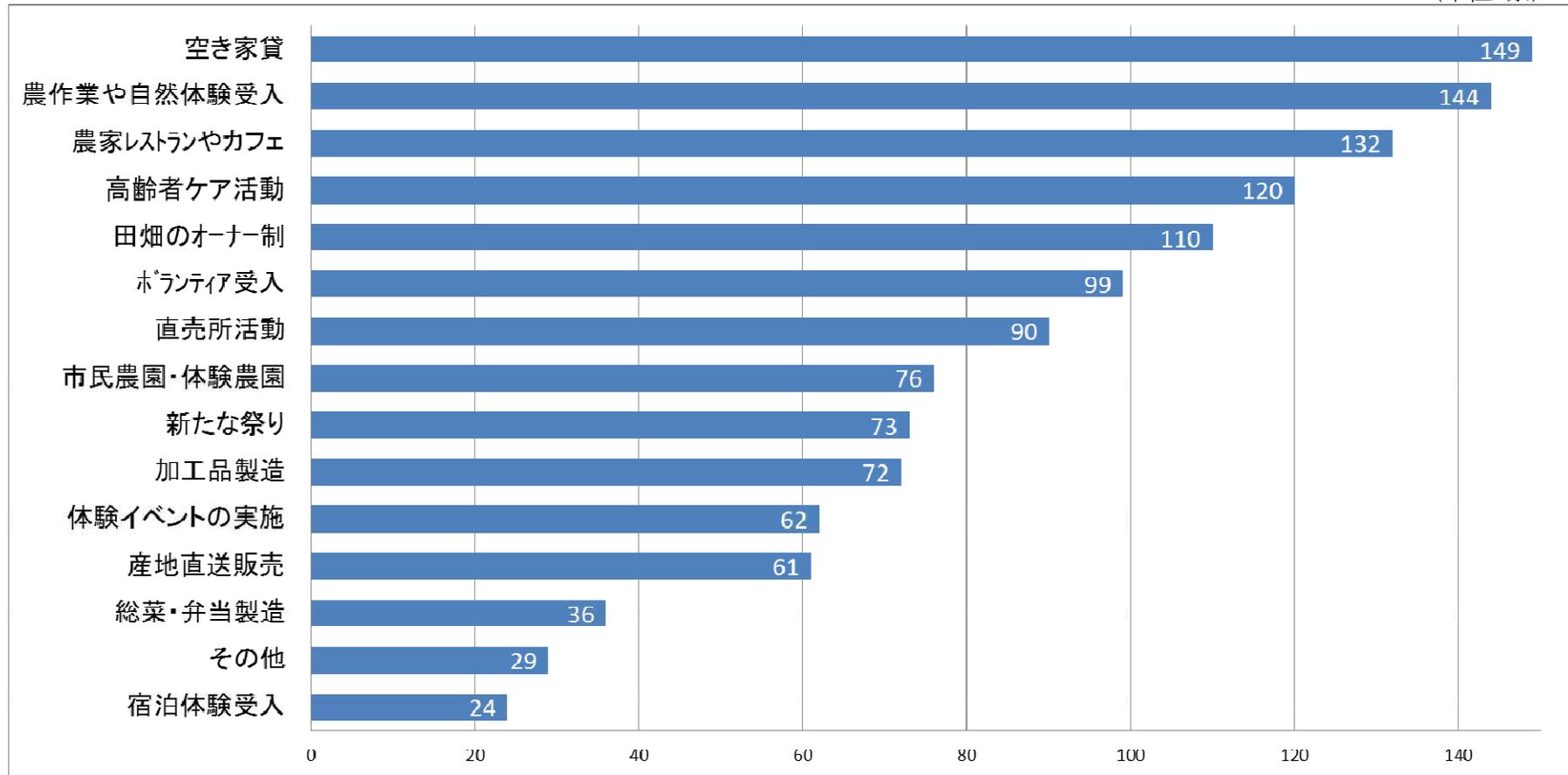
- 子供～お年寄りまで利用できるデイサービスや学童のような施設
- マラソン大会や登山大会の実現
- 仕事が多忙で参加は難しいと思うが、できることがあればサポート役くらいなら参加してもよい
- 体力的に、年齢的に自信がない。研修会やプランなどの話し合いなどには参加したい気持ちあります。
- 仕事優先させて参加できる範囲で
- 時間がない
- どちらでも
- 子供が小さいので今は無理
- 機会要請があれば参加する
- 仕事の関係で五年位は無理
- そのときによる

問10

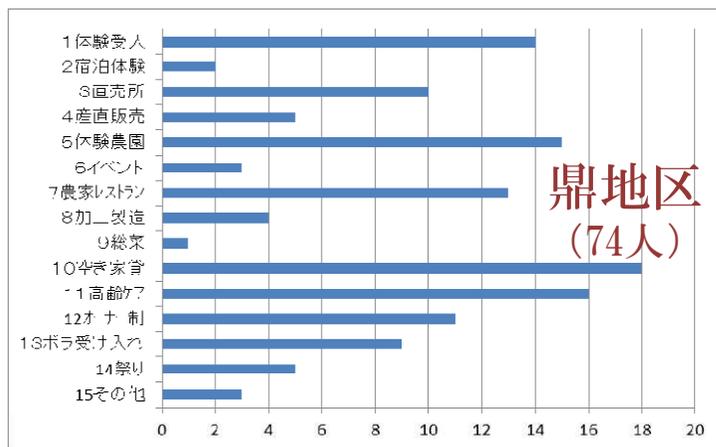
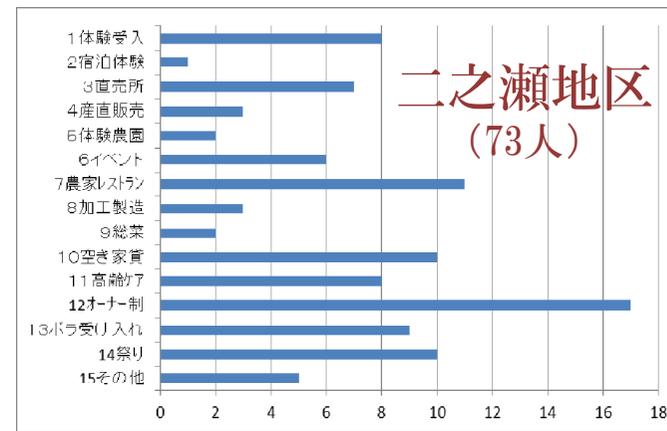
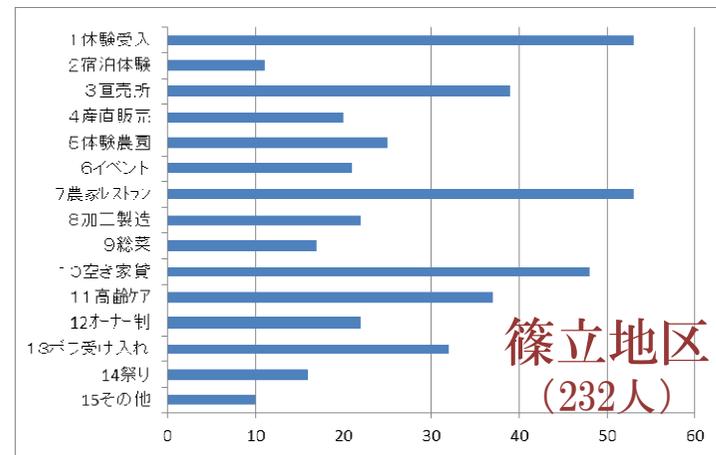
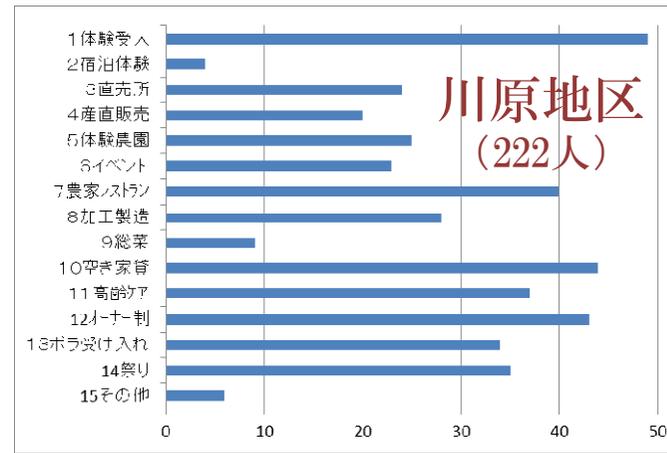
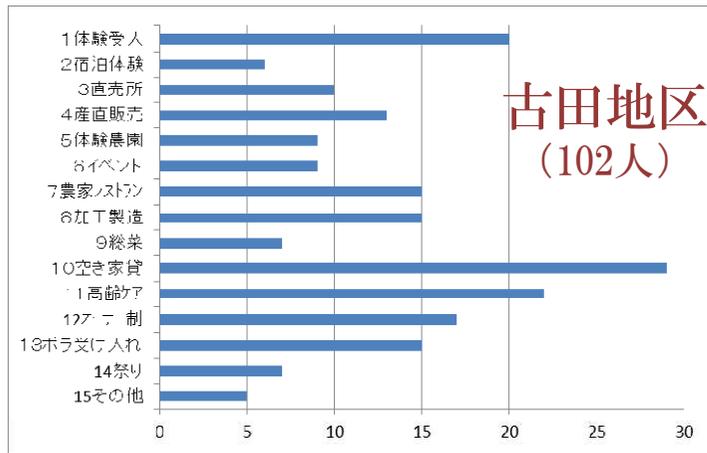
あなたの地域において、以下の活動のうち**地域が活性化されると思われる**活動を下の回答欄にお答えください。(3つまで)また、その活動はどの団体が取り組むと有効であるかお答えください。

- | | | |
|----------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 農作業体験や自然体験などの受入れ | 6. 体験型イベントの実施 | 11. 高齢者のケア活動 |
| 2. 宿泊体験の受入れ | 7. 農家レストランや農村カフェ（そば屋、菓子家等も含む） | 12. 田・畑のオーナー制度 |
| 3. 農産物の直売所活動（日曜市や軽トラ市など含む） | 8. 地場の農産物を活用した加工品製造 | 13. 農作業や、山竹林保全等のボランティアの受入 |
| 4. 産地直送農産物の栽培 | 9. 地場の農産物を活用した総菜や弁当製造（宅配も含む） | 14. 新たな地元のお祭り（収穫祭や運動会など） |
| 5. 市民農園・体験農園・観光農園 | 10. 貸し空き家 | 15. その他（ ） |

(単位:票)



問8の“興味があること”と比較すると、体験受入や農家レストランなど交流に近い活動が上位になり順位に入れ替わりが見られるものの、上位7位までは同じ項目が並ぶ。



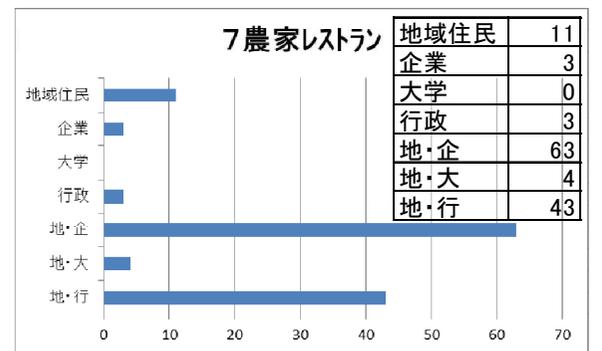
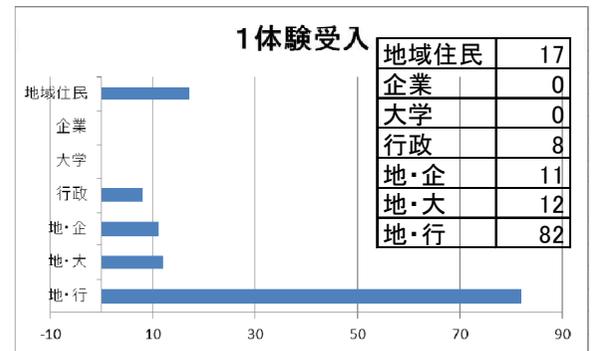
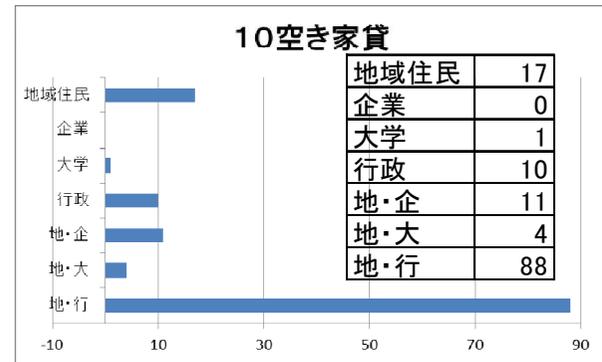
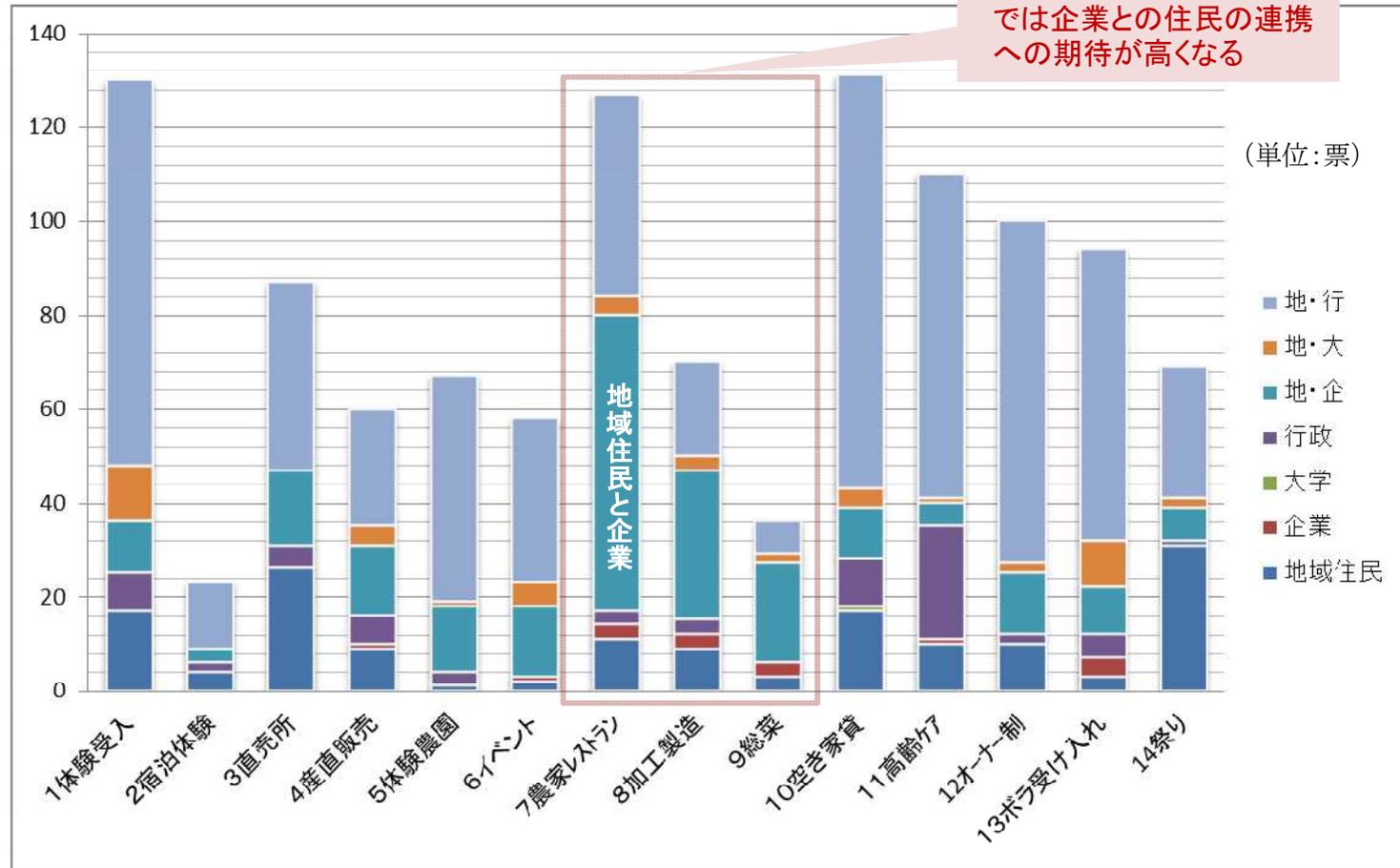
地区ごとの票数を見ると、
問8の興味のあることと、ほぼ同じ傾向が見られる。

番号

取り組む団体 (○は1つ)

地域住民 ・ 企業 ・ 大学 ・ 行政

地域住民と企業 ・ 地域住民と大学 ・ 地域住民と行政



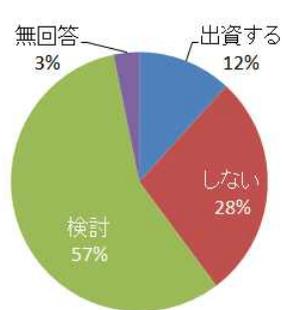
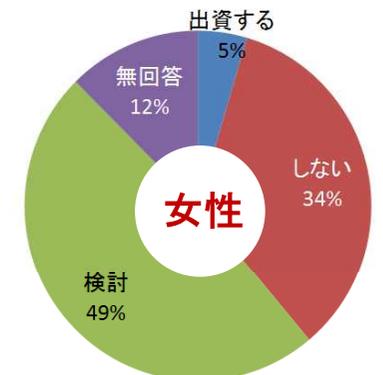
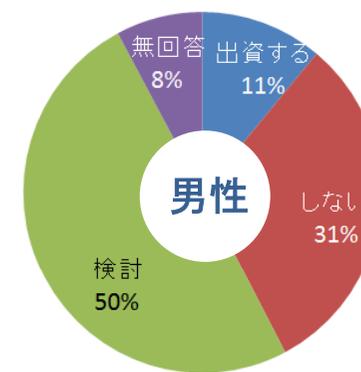
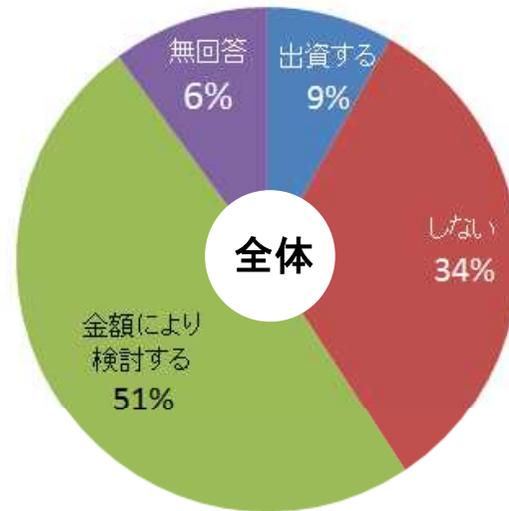
地域活性化の各項目に取り組むべき団体のあり方は、地域住民と行政が一体となって活動すべきという認識が高い。農家レストランは企業への住民と企業との連携への期待も大きい。また、直売・総菜・イベントなど商品の加工や販売・イベント面でも企業との連携を望んでいる。

- 高齢者のケアでなく高齢者自身の知識・技術の活用
- 今やっている土曜学校のようなものを地区の子だけでなく広く受け入れる
- 立田公園のグラウンド、立田小の体育館などを使ってのアマチュアの練習場やパラリンピックの練習場など
- 日本一利用率の高い図書館
- 昔地域の産業だった炭焼体験、販売など、山竹林保全を兼ねて？
- 温泉を作る、工場の誘致
- 地元で買い物できる店が欲しい
- 自分が年齢や体調を崩してやる気が出ないが、やればよいのになと思うことあげますと篠立の西山の開発で観光地にするとよい。
- 藤原の教員を前面に押し出した取組
- 上記の事柄はどこかの地域、団体で行われており、新たな事を考えなければいけないと思う。
- 文化的な地区にする
- 住みたくなる村づくり、交通対策(通勤通学)
- 地区の改革
- 農業公園の拡大

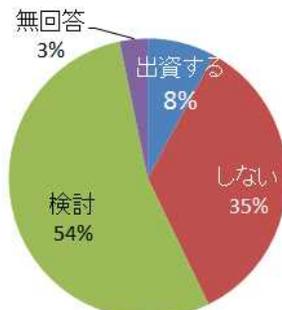
問11 あなたの地域で農産物の直売所などの地域事業を始めることになり、地域の方からの出資を求められた場合、あなたは出資するかお答えください。

1. 出資する
2. 出資しない
3. 出資金額により、どうするかを検討する

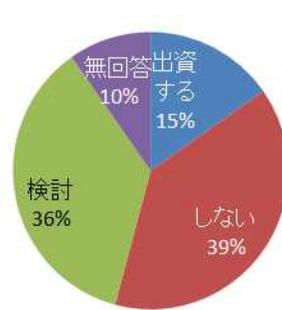
出資する	57人
しない	228人
金額により検討する	345人
無回答	72人
合計	703人



古田



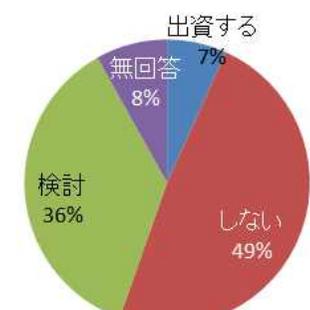
篠立



鼎



川原



二之瀬

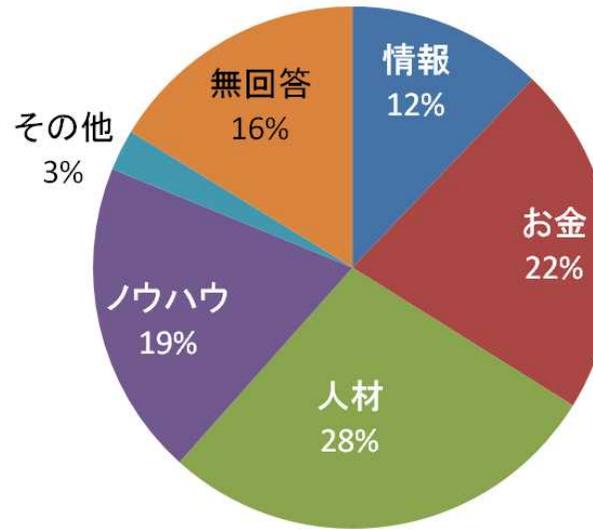
地域事業への出資は、金額により検討するが最も多く、出資しないは全体の約3割。この傾向は各地区でも同様で、男女間でもほぼ同じ傾向が見られた。

※男女間においては、夫婦で相談して(同じ回答で)記載している傾向が見られる。

問12

地域でグリーン・ツーリズムに取り組むために必要だと思われることを以下よりお答えください。(○は1つ)。

1. 研修会や視察などの勉強会（情報）
2. 活動費などの助成（お金）
3. 活動を引っ張る地域のリーダー（人材）
4. 外部（企業や若者など）からの協力・支援（ノウハウ）
5. その他（



情報	86人
お金	153人
人材	196人
ノウハウ	138人
その他	19人
無回答	111人
合計	703人

GTへの取組に必要な要件は、ほぼ、人材、活動費(お金)、外部のノウハウ、情報と並ぶ。これは地区ごとで比較しても、ほぼ同じ構成比であった。

- 続けていけるかよく考えてほしい
- 上記の事柄は全て他人任せであり、もっと自分たちで方向性を考えなければいけないと思う。
- 変化がない、情報がない
- 人口のバランス(年齢)
- 高齢者じゃ何もできない
- 人材
- グリーンツーリズムは必要なし
- 人材
- 続けなければ意味が無い
- 川原地区の住民が統一した意識を持って、良い地区を創っていかうと行った意思が必要
- グリーンツーリズム自体必要なし
- 特に考えたことない
- 現在の地域(区内)の状況を住民が自営をする必要がある。無駄の排除をしない限り、若年層は住み着かない。
- 上記のすべてが必要だと思う
- 山へ行く道にはたくさんヒルがいます

問13	市外からのお客さん(友人・お孫さんなど)に、あなたが紹介したい地域の隠れた名所・スポットや行事・イベントがあれば教えてください。
-----	--

記載事項	
	鼎から川原に通じる坂の上から見る藤原岳の風景や梅林公園から見る藤原岳
	諸岡建設の破石場近くから中里ダムの展望
	川原線の峠を望むダムと藤原岳、ねがい鼎橋
	廃村となった深尾地区の有効利用
	・藤原町山口にある「Attente」の焼きたてパン。(モーニングにしている。) ・北勢其原にある「tina tina」というカフェがかわいい雑貨屋さんもしている・「Vente Vente」という美容院の裏で陶芸教室をしている ・「こんま亭」のタルトが美味しい「Amiens」のパフェがおいしい。モーニングも・PoPo Cafeがご当地メニューあり、おいしいモーニングあり・石樽に「コナラ」という隠れ家カフェがある
	梅の販売、山芋も作っていた
	限界集落でありながら、老人介護施設が自立運営されていること、この分野がない。社会的要請である町おこしのつながる。
	農業公園
	農業公園
	パークゴルフ場、ボタン園、梅林
	いなべ市農業公園(梅祭り、梅もぎ体験など)いなべ市エコ福祉広場(ボタン祭り、パークゴルフ等)水源公園、中里ダム
	(藤原パークゴルフ)農業公園、子供広場改修し遊園地にする。中里ダムのイベントの時期変更、5月にする
	猿の大群見れる
	猿に取られるので何もなし
	散歩しながら山菜(ワラビ等)が採れる
	中里ダム(養鈴湖) 神社の大杉、広野林道、大洞林道
	中里ダムの有効利用、つり、ボート、カヌーの解放

記載事項

水道水がおいしい

遊学祭、もみじ祭り、拘留孫岳、風穴、元観音、長楽寺

遊学祭、収穫、雪

そば畑とそば打ち。三岐鉄道、聖宝寺、藤原岳

すぐにはわからない。

風穴

川にも山にも近い所が良いと思います。立田のホテル

遊学祭などの地域のイベント。休日に小学校で保護者が指導してソフトボールをしている。

藤原岳、阿下喜温泉

山から流れるおいしい水が多くある場所。ホテルが見れる川。立田小学校の行事いろいろ。

藤原岳、御池岳、烏帽子ヶ岳。峯、鈴鹿山脈の登山。※尚、登山道の整備を充分にしてからならば。

遊学祭、収穫祭もみじ祭

篠立の水、藤原岳、牧田側の川下り(大垣市上石津町と)

湧水の水くみ場

遊学祭はみながいろいろ体験できるので私はいい行事だと思っている。

素晴らしい公園があるので手を入れて遊びに来てほしい

ホテルがよく見れる川がある

尾崎の水

いなべの源流、ナローゲージの北勢線

きれいな水

ホテルの観察ができる

蛍の繁殖場所

ホテルの里、紫光窯、長楽寺(馬頭観音)。1年を通して何らかの花や花気が咲き、木々の新緑から黄葉、紅葉があり、ハイキングや散歩やランニング、サイクリングができる場所(コース)の途中で軽い食事ができたり喫茶ができるよう総合的に考えながら、自然と触れ合ったもらえる場所づくりを新しく作る必要がある

記載事項
自然
風穴、遊学祭、ほたる
遊学祭や夏祭りや秋祭りと言った祭りがたくさんあり楽しめること。
篠立の風穴
篠立の風穴、篠立の遊学祭
紅葉
白石公園(紅葉の季節、春の桜の花の見物)、散策(散歩)
篠立の風穴
篠立の風穴、取水口
紅葉、水、ホタル
おいしい水の湧く所。ジョギングできるようなコース、学校、篠立南、古田の農道、東海自然歩道、古い街並みを整備し、馬籠とかのようにつけものや手焼きせんべい を売る。シルバーさんとかで古い空家を使い、小さな店を作っては？
自然と地域づくり
いいかげんな紹介をすると資源を荒らされてしまうことも考えてほしい。買い物難民が多い。地元の人間のことを考えた事業に取り組んでほしい。また、いなべ市に来て もらっても地元の人間の移動手段がなければ、年齢的に私では参加できません。情報も手に入りません。
篠立地区は遊び場所(土地)はあるが、山へ行けば危険性が多く毒虫や野獣などに悩むので紹介しにくい。篠立の西山の林道をもっと開発するとよいと思う。
立田公園の桜、紅葉
梅祭り
長楽寺と林道からみる風景
山の神が年に一度行われる
立田公園を活用したリゾート地、リゾートホテルの着工及びサイクリング場、新入社員の研修所の着工
風穴、ホタルの飛ぶ赤尾川、竜王の大杉、遊学祭

記載事項

篠立地区の中心地に広がる山林の公園化(国道と県道にはさまれた山林(竹林含む)の竹、木を整理し区民の憩いの森化したい)

農業公園、聖宝寺、もみじ祭り

風穴

地域の明るさ

ホテルの飛ぶ川

いなべ市が一望できる拘留孫岳 特に三国岳、鳥帽子岳、拘留孫岳の立田三山への登山はオススメ

遊学祭

龍王登山

立田小学校のホテルの飼育・発表 年間4回のイベント 長楽寺

立田小のホテル

風穴

長楽寺(歴史が古い仏像) 山の上からの眺め(立田公園、展望台、拘留孫岳)、もみじ、いちよう

三重用水ダムの利用 員弁大池の利用 風穴の利用

農業公園

黄金大橋から見下ろす稲穂が黄色く波うった時の景色、夕方4時ころ 日の入り前の影がとてもきれいです。(秋の田んぼの収穫前)

地区主催の遊学祭(5月)、地区主催の収穫祭ともみじ祭(11月)、小学校行事 学習発表会(1月)、小学校行事 ホテル研究発表会(6月)、ボランティアによる森の学校(土曜学校)、地区・小学校行事 山の神(12月)

5月遊学祭を行う風穴の探検や物作り、食べ物、餅つき。 11月収穫祭もみじ祭 野作物の販売小さい子のゲーム、食べ物の販売。10月秋祭り

古田地区内には特に紹介したい名所・スポットが思い当たらない。

藤原の湧き水、遊学祭、古田遊歩道etc

観光資源について教える場合、注意が必要だと思う。以前、カタクリの群生地を観光客に教えたりしていたこと、数日後、根こそぎ掘り起こされる被害にあいショックを受けています。良い人間ばかりではないことを思い知らされました。

山の神、遊学祭、ホテルの会

記載事項

水がきれい

ホタルが飛び交う川

それが言える様にしたい。

テニスコート(無料)、四季の草花(古田地区のみの在来種の群生 ゲンノショウコ・ナシテンハギetc)、東の田から見る風景、歩いて岐阜に行ける所、積雪、空気、飲料水

とても綺麗な水、ホタル、裸足で遊び回れる自然

カブトムシが捕れる森や天井に竜の絵が描かれたお寺、お城の跡

古田遊歩道、ほうすけクラブの古田里山楽考

教育

アケビが採れる森

小魚が泳ぎホタルが舞うきれいな川。蛙の大合唱。鹿の運動会にタヌキの夜間のみまわり。朝の空は星が輝き自然のプラネタリウム。人はやさしく、心に余裕がありあたたかい古田。

水が美味しい

赤尾川(ホタル)

赤尾川(ホタル)

登山

白滝

秋葉山からの風景、東林寺の白滝

東林寺(白滝)、自然歩道(秋葉神社周辺)

素晴らしい白滝

便利な土地ではない。荒れた土地を～ことは大変です。

田切川での川遊び

養老の裏滝があって夏場等には避暑地に最適。桜公園の高台からの遠景は素晴らしい。

登奈井尾村の紅葉が綺麗。桜公園

記載事項
登奈井尾林道を歩いて川で魚釣り
眺めの良い山登り(遠見地区)綺麗な水流の登奈井尾林道の散策。農作業体験(米づくり)
東林寺の白滝、おいしいお米
丸山神社、東林寺、登奈井尾林道、秋葉神社その上流等を含めた観光
東林寺の滝、秋葉神社からの景色
白滝
桜がきれいな公園、見晴らしの良い高台
東林寺の白滝
東海自然道の活用
東林寺の白滝
東海自然歩行
東林寺(白滝)
化石が採取できる場所
東林寺(白滝)
登奈井尾林道の紅葉
秋葉神社及びその周辺の眺め
山芋
農業公園
東林寺の白滝、白滝のライトアップ
松茸山
東林寺の白滝
東林寺の白滝、秋葉神社
白亀薬社

記載事項

雪が降ったらカマクラがつくれます。

農作業体験(米づくり、野菜づくり)

農作業体験(米づくり、野菜づくり)

川原の東林寺にお坊さんがいないので来てほしい。お坊さんもないのに観光に来るはずがない。

隠れてはいないが、石樽峠は綺麗&滋賀まで行けて最高

タケノコがよく取れるやぶ、イモリが多く住む川

東林寺の白滝へ連れて行きたい

子供たちが遊べる公園やキャンプが出来るところをつくれたらどうか？東林寺をもっと綺麗に

東林寺

夏は白滝が涼しくていい場所だと思います

気軽に行ける温泉(六石高原ホテル、阿下喜の温泉)。大きなキャンプ場(青川)

東海自然歩道(四季)

農業公園、秋葉公園からの景色

農業公園、秋葉公園からの景色

桜、紅葉、川遊び

東林寺の白滝

秋葉山

ブランド米、川原の白滝、秋葉神社

秋葉神社近くに眺めのよさと新緑紅葉はとてもよい

四季を彩る自然の美しさ。マイナスイオンを感じれる東林寺。

東林寺、赤宮さんの景色

秋葉山からの景色、林道ハイキング、棚田風景

東林寺の白滝、山菜採り、きのこづくり

記載事項

自然が多い 日尾神社など他地区に無い美しいところ

二之瀬の日尾神社には大杉(400~500年)があり、古い神社なので紹介したい。

弁当谷、洞谷のわき水は自由に採れ、以前は名古屋方面から採水に多くの人が見えた

1.大きな杉(一本杉、二本杉、三本杉)がある日尾神社 2.佐風尾林林道は自然歩道にちょうどいいと思う。 3.洞岸林道の自然(特に川辺の美しさ)

二之瀬峠の景色(春、秋)が美しい

二之瀬日尾神社 杉の木

二之瀬神社

日尾神社

四季を身近で感じられる風景

自然、農業体験

二之瀬生産森林組合の佐風尾林道(いなべ随一の完全放送林道)を保育所、小学校、中学校、市民の散歩、遠足、ドライブ、自転車乗り、山観光等に利用する

ふなみそ

日尾神社

日尾神社

日尾神社

問14	地域に伝わる自慢の料理や独自の料理(郷土料理)を教えてください。(材料・作り方などを詳しく記入してください。)
記載事項	
じゃがいもとたら(魚)の汁。みそ汁みたいに作り、最後に長ねぎを入れる。※魚のくさみを消すのに酒を少し入れる。	
アホ炊き。(本づけしたたくあんを一度塩を抜いて、煮干しや昆布を入れてもう一度味付けをして柔らかく炊く(酒、しょうゆ、サラダ油、とうがらし)	
山菜	
芋を入れてつく餅。さつまいもを入れて一緒に着く。餅が柔らかくて甘くなりおいしいです。	
山椒の佃煮	
川のり(員弁川の源流で自然に川の石に生えるのり)現在は見たことがない	
かきもち、土地の葉とみそのセット、かやくごはん、山芋料理	
いも団子、里芋と米(もち米とうるち米)を炊いて、ついて、丸めて、焼いて、みそだれやショウガダレ、ごまだれをつける。いばらもち、小麦粉をこねてあんを入れ、がんとち葉ではさみ、むしあげる。草もち、米こもち米を蒸し、ヨモギを入れついて団子にする。(あんこいれとかきなこをまぶすなど)	
押し寿司(箱寿司)・・・子供の頃箱にすし飯を入れてその上に具を飾り押した彩りの綺麗なお寿司をよく作ってもらいました。	
山菜汁、かきもち(かやの実入)、草餅、山菜(天ぷら)	
法要の時の引き出物に太巻きすしを作出したことがある	
産直で即調理でき提供する施設。集客が出来る(アピール)方法	
ヒラタケの酢しょうゆ煮 ヒラタケを湯がき、さまして大きい物は手で裂きしぼる。鍋に砂糖としょうゆ、酢を入れ煮立たせる。ヒラタケを入れてゆっくり煮る。	
あほだき①たくあんの古づけを塩抜き②半月切りにし、大きな鍋で油で炒め③しょうゆ・みりん・とうがらし等で味付け)	
鮎味噌	
鮎味噌	
長芋 焼く、蒸す	
酢素麺	

記載事項

父の実家が中里地区なので葬儀の時のとうがらし汁のインパクトは今なお強烈な記憶として残っている。自慢の郷土料理としてその資格十分とみる。

・がんたちだんご ・カボチャの餅 ・大根と厚揚げの煮物

とうがらし汁 葬儀の時につくる

昔のももの、若者が食べるのに変化があり好まない。特に漬け物

柿、あまぼし、さつまいも、野菜の漬け物

観光、林、道路などでゴミなどがたくさんあるから、まず先に行政地域等で掃除をし、それから考える。まずは実行すること。アンケートだけでは？猿等の駆除に力を入れる。注)昔は猿、猪はいなかった。鹿なども見たこともなかった。イオンジャスコに協力にしているのか役場は何年何十年も悩む。

いばら餅

いとこ荷(さといも、小豆、大根等)あほだき(たくわん)

かやくご飯

芋汁

自分の料理(ワラビ寿司)※灰汁を抜いたワラビを芯にしてわさびをご飯の上へのせ海苔に巻く

里芋団子※白米+里芋を煮る。小判型にする。フライパンまたはホットプレートで焼く。みそ、しょうがたまり、五平みそなどをつける

あほだき(つけものを水抜きにすることから所帯無し炊きとも)※つけただいこんをだして二日ほどつけて出して(アホにする)刻んで輪切りにして水で炊き柔らかくなったら油を入れてたまりを入れてだしを入れてしばらく煮る

蒸しダンゴ※ガンダチの葉二枚で包んだあんこ入りのダンゴ

菜漬け(小さい大根の葉っぱと根の部分)

ダイコン汁

いばら餅、味ご飯

鍋の底でこげたご飯を菜漬けでお握りにする

葬儀のお汁(たまり汁)には必ず唐辛子が入っていました。今は個人の葬送もなくなり戦中より自然消滅しました

山芋汁料理、

記載事項

養泉寺などででるお汁

スモモ、山桃、50年前子供の頃食べてた。

いばもち、雑煮

山菜料理(山菜天ぷら、きやらぶき)

子供の頃にサトウキビを畑につくってもらって食べた。粟、キビをつくり餅で食べた。

昔はあまり調味料を使わなくて料理をしていた。材料そのものの素朴な味であっさりしていた。

糰みそ(最近はあまり食べられていないかもしれませんが。おばあちゃんがよくつくっていました。つくったことはないのですが、材料は大豆、糰、食塩だったと思います。)

山芋汁

芋汁

菜づけ(カブラ漬け)、赤みそ汁(大きな大根)

むしダンゴ、昔は春の田植えのとき(あぜのはら祭り)昔秋の取り入れ後の祭りなど

アワ(アワモチ)※モチのように臼でついた

山芋汁、芋煮

以前自宅で行った葬儀のときにつくったとうがらし汁、山芋をすり鉢ですって山芋汁をつくる

米

ふなを骨がくだけるまで炊き味噌と混ぜる←カルシウム大

報恩講のおとき

問15	昔は栽培して食べられていたが、現在は栽培していない作物などの品種をご存じですか。それはどのような野菜で、いつ頃・何処で栽培していましたか。
-----	---

記載事項
ばっちゃんづけがうまかったなあー
30年くらい前には各々の家が自家製造していたと覚えています。
山菜(畑)
そら豆、カリフラワー、大根、落花生、えんどう、かぶら、里いも、きゆり、人参、ねぎ、トマト、ピーマン
かいこ
コンニャクイモ 自宅でこんにやくを作っていましたが今は無理
山芋栽培 大きく企業化
むかしは菜種を12月に植えて翌年の6月に収穫して種油を作って自家用に使用していた
栽培ではないが40～50年前までに笹ユリが自生していた。今は無い。
胡麻
ポポー 戦後の一時期、当時の青年層が畑の一角に植えていた。
昔のゆり根(今よりもっと苦かった) 山ウド
自然薯栽培していた
自然が損なわれている。外部の者が野山を荒らしている
ナンバ(とうもろこし)
しいたけ 干し柿
鼎は食べたくても作れない
サツマイモ、トウモロコシ、ジャガイモ(1980～2000年 畑で)
農業(野菜作り)はやったことがないのでわからないです(母がつくっています)
さとうきび、ごま、きび、あわ
落花生、とうもろこし、大豆、柿、桃、栗、椎茸等。外畑の栽培は害獣のため外無。

記載事項
米を作るのにせいぜいしています。イノシシにめちゃくちゃにされています。
外部から訪問者を受け入れる体勢を積極的に(秋葉神社の下の公園トイレの開放をを行うべき)
小中学生の頃、自宅や近所の田畑でトウモロコシや枝豆、カリフラワー・ブロッコリー等を栽培していました。
桑イチゴ、かやの実、椎の実
自然薯パイプ栽培
昭和25年頃までサトウキビ、胡麻・菜種
山芋
落花生。現在の大きな実ではなく小粒で香ばしい時の品種。四十年程前までこの地域ではほとんどの家で栽培されていた。
桑の実
蒟蒻芋4~5月作付けして10月~11月に収穫(昔はお茶畑、茶の樹と茶の木の間で多くつくられていた)
から芋(サトイモに似た野菜で茎を煮て食べた)※結婚して川原に来て初めて食べました。本当の名称は知りません
きび、あわ
山芋(やまぎ)、秋に取れる
害獣などによりスイカを作らなくなった
ニッキの根、芹、たらのめ、終戦後二十年ごろまで
猿、イノシシ、鹿で良い野菜は全部ダメ
ゴマ、京ヶ野の畑、落花生
ごぼう、にんじん、京ヶ野
グミの木

自由意見

最後に、地域によるまちづくり(地域づくり)についてご意見があればお聞かせください。

記載事項

研修会や視察などの勉強会等若い世代の人を主体に数多く行うことだと思う

小さい子供をかかえる若い人たちが安心して働きに出れるような地域(学童保育の充実など)、高齢者のケア活動(移動手段など、、、)も重要なことと思いますが人口が減少している地域にとっては若い人たちの子育てのしやすい地域

昔から子供たちの地区活動が、続いてくれると面白い

寄宿舎型山村留学を。一定の経費負担(学費負担)を保護者に課した上で、少人数教育を。賛同者は多いと思う。

地域づくりは全国的にみて困難な課題。無理せずにやっていくこと。

●●地区では積雪します。結構多くつもります。これをもっとうまく除雪していただきたく思います。そして寒さも厳しいから少々のガソリン代等の補助があってもいいのではないかとおもう

●●地区はおきざりになっているが多い。市長の住地は雑草刈りでもきちんとやっているのを見る。どうしてなのか。全ての点で●●は損をしていると考える。合併しなかった方が(●●町だけでいなべ市に)良かったように思います。

高齢者世帯への地域の支援の組織化が必要

若い人が出ていってしまうから新しい雇用を作って多くの若人が地域に来てくれるようになったらいいと思う。自然が魅力だから新たに家族が住めるような取り組みをしたらいいと思う。

私は他都市より移住したものであるが、地元の人々の排他的な意識をなくして幅広く意見を聴くことを望む。

各地で行われているマラソン大会の良き所を学び、いなべ市で日本一楽しいマラソン大会を実行する。藤原岳の登山大会を実行する。

日常生活に余裕があってこそ地域づくりにかける時間や労力を捻出できる

街づくりを行うことは良いことだと思うが、地域住民に押しつけられるのは負担だ。例えば、仕事を休んでまで街づくりに参加しなければならない等。

活性化など話し合いは行われているが動き出すとなれば、人材、資金などの問題があり、活動できない。失敗を恐れず動き出したら？

大変だと思う。個人を犠牲にしなければならないと思う。

行事を増やすと大変である

全員参加できることを考えることが大切である

記載事項

若い人が残ってくれるようなことがない

働く場があればいいと思う。(若い子の)

体の不自由な所がありますのでできるだけご協力いたしたいと思います。

夏祭りが大人気で、大人から子供まで楽しめる事。ずっと続いてほしい。

重要なことは行政が住民の意見をよく聴いて、サービスの心が必要。また住民の中で信頼されかつリーダーシップのとれる人材が必要

40代から50代の年代でリーダーシップのとれる人材の育成が必要である

高齢化、若者の流出により生活状況が変化してきているのでその流れを止めることができない。この状況を変えるには名案はないが私は活動をして流れを変える一助になれるよう行動したい。

●●は祭りを5つほどやっており、ちょっと無理しすぎ。生活のために仕事を中心に生きていくのには行事がむしろ多すぎるのではないかと考える。毎年やってるからと何も考えずに継続しているのが●●地域の現状である。

アンケートの中には農業体験、自然体験という言葉がたくさん出てきていますが農業は主に高齢の方が従事されており、その方たちが中心に地域づくりをすすめていくのは大変です。もう少し若い世代でも取り組もうと思える内容を考えていかないと長くは続かないと思います。私は農業体験や自然体験や知識があまりありませんので、お役に立てないな、、、と思ってしまい。

これから雪が降りますが若い世代も含めて除雪は大きな課題だと思います。早朝から除雪作業していただいて感謝しています。若い子たちが地元で働けるといいなと思います。

雪が降る日が多く何かやっても長続きしないといけません。狭い道もできるだけ早く道をあけてほしい。水草がわら葺きの家を作り観光地にも都会の人の癒しの地になるとよい。農業公園も成功しているけど、少し遠い。近くにあるとよいです。

20年、30年先のことを考えて、地域づくりをしなければならない。

高齢化が進む当地人が出会える機会を持ち気持ちのコミュニケーション、活性化を計ることにより、域外にもつなげられたらと思う

高齢化が進む当地人が出会える機会を持ち気持ちのコミュニケーション、活性化を計ることにより、域外にもつなげられたらと思う

若い人が定着できる環境づくりが必要だと思います。例えば光ケーブルによるSOHO整備と空家の活用(備家として)を考えるべきだと思います。

地区内でコシアブラとタラの芽を大量に作る*タラの芽:山菜の王:コシアブラ:山菜の女王様 山菜の「ロイヤルパック」として売り出す

高齢独居者が増える事を踏まえシェアハウスのような場所を創り地域で住み続ける環境を作る必要があるのではないかと

記載事項

●●地区はいろいろ頑張っています。ただ、発信力が無い

藤原町内小学校統合には反対です。地域から小学校が無くなれば地域に活気が無くなり寂れてしまいます。特に行政は本当に子供の事を考えて新校舎の建設を進めているとは思えません。本当に子供の事を考えるなら統合しない、又は統合するとしてもソフト面を十分に検討してからそれに沿って校舎の設計をすべきです。

たとえば婦人会青年団などの団体が無くなったので交流も少なくなったなと思います。今は何が起こるか分からない時代、そのつながりもあるのではと思います。

高齢者が増えて行くので次の世代へうまくバトンタッチができるといいのではと思います。

人の和を大切にするイベント 白石工場廃鉱見学イベント

宅地の造成

今後、廃校になる予定の小学校を高齢者の学びの場としたら良いと思う。

他にはない特色ある地域作りをしなければ地区はなくなって行くと思います。買物弱者、通院通学に不便など、一つ一つ身近なことから解決していかなければいけないと思います。

高齢化が進み、3年後に小学校が統合されるに伴い過疎化に拍車がかかることを心配している。地域の強みは、山村留学制度を26年間続けてきた実績を活かした子供達を見守り育てる地域ぐるみの団結力がある。このことを何らかの形に結びつけたい。

●●という1地区だけでは何事も限界がある。自治会の合併も考えて無理無く継続できる事を考えるべきであると思う。

現在、いなべ市は進む方向が全く見えません。小学校や役場の統廃合だけでなく、図書館までもが減ってしまい、とても残念に思っています。いなべ市は文化・学術的な事に力を入れない市だと残念に思っています。

ビジネスモデル研修からのまちづくり

名所と言える場所が出来ると良いと思う。

行政が持っている情報(財政・事業の課題等)をオープンにして欲しい。ボトムアップ型の地域づくりをしてほしい。

子育て世代がいかに関わり残るか。その為にはこれまでの家父長制の跡のとり方から変化すべきです。田舎でもお嫁さんが子をつれてあるいは夫と共に同居後に出て行く事は少なくありません。娘夫婦が残る等、男女に関係のない跡の取り方や近居など、どちらの世代にもメリットのある住まい方が今後のキーワードになると思います。育児・介護とも最後は寄る所が大きいのですから。

外部から農業体験etcに来てもらう。はじめに草刈りやゴミ拾い、側溝清掃etcを体験してもらって交流するのもあると思います。

当地域は住民の人柄もおおらかで自然豊かである。少子高齢は当地域だけの問題ではなく全国的な問題であり、自助努力(ソフト面、ハード面)も必要だが、国や市の政策(雇用案)も重要である。若者が住み良い、雇用も伸ばし利便性のある町にしていく必要があると思う。

記載事項

現在、年間3万人程の方が●●地区に来られますが、時間を長く滞在できるような施設・自然空間があると良いと思います。

若者が住める環境。学校を卒業して帰りたいと思う環境

消費税が上がれば上がる程、消費に使用せず、預貯金にお金を回すだろうと推測します。(3%に戻すべきだと思う)10%になったら喫茶店、コンビニも減るのではないかと危惧している。

自分だけでいいと思うと村では生活出来ない。おじいちゃん、おばあちゃん、父、母、子、思いやれる家庭を大切に思う心が無ければ作る事は無理ですよ。

楽しめる事が無ければ人は来ない。食べる事、観る事、行動する事、三者の中で秀でた一者が……

若者が少なくなり新しい発想等が少ないので行政支援を受けた地域作りが欠かせない。しかし地域住民の意見や思いをていねいに聞き取って進めて欲しい。

行政の的確なアドバイスと地元(地域)の盛り上がり。私利に走る事のない、他利に生きる事を生きがいにするような真のリーダーの育成(見だし)が急務であり、不可欠である。●●地区として眺めると●●にはその名に値する人物はいる。●●地区として取り組まなければ事は前に進まないが、●●でもその視点に立つ事が出来る真のリーダーの育成が急務である。

無理をしたくない活動が長く続くこと

お年寄りが多いので、お年寄りが活躍でき、意見をうかがえる場をつくりたい。それが人件面、金銭面、サービス方法など、実現可能なものとなるよう他の世代がサポートしていくカタチが理想

地区の自治会活動の改革と情報の発信が必要

都会と繋がるアクセス道路の新設 向手IC～川原IC～川原～鼎～篠立～国道365号を直結する道路などのインフラ整備が第一歩

鳥獣害の問題を解決しないと何もできない

道の駅等を作り安心して農業に取り組めるようアンケートだけで終わるようなことはしないでほしい。年金が少なくても野菜があれば少ない年金でもいいと思う。

二十代の独身は地元に住んでいても何も問題ない。けれど既婚すると住まい、環境、子供の教育面、便利性総合的に考えてしまう現状です。

鳥獣害をなんとかしてほしい

誰でも、いつでも気軽に集まれる場所をつくる(農家レストラン)※温泉施設、地元名産物、販売所併設。高齢になると食べる事が疎かになってしまうと思うので地区の中心に歩いて行ける場所にワンコイン(500円)で栄養満点のレストランをグリーン・ツーリズム事業でつくってほしい。運営は自治会です。

魅力ある町になればと思っています。

鳥獣害をなんとかしてほしい

記載事項

ボタン、梅祭りのとき、ガードが固く散歩に困る

この事業にあたり獣害対策が一番と思います。人間の口に入る前にやられてしまうので。狩猟免許者増やすのに補助金欲しい

地域のコミュニケーションを取る機会や場所などが少なくなっているように思える。皆が楽しく輪・和が持てる企画&催し物(盆踊りがなくなった)等が年々減少。地域の催し等に市の方の協力は不可欠かと。”勝手にしてろ”ではなにもなくなってしまいそうですよ。

高齢化、地域住民の減少が進み地域に活力がない。地域活性化の為に地域にあったリーダー(人材)の協力・支援の要望

藤原パークの夏の時間と冬の時間を考えてほしい。農業公園内を設備して子供も楽しめるような設備に。土曜日・日曜日は120名ほど来て、遊園誘致して入園料とって～

あまりにも、猿、鹿、猪が増えすぎています。電柵のできる人は良いけど、弱者でできない人は畑をつくらなくてはいけなくなりました。芝地が増えているので、よけいに動物が寄ってきてこまります。

地域に人がいなくなったから今後のことをどうするんだと提案されても今更ながら少し遅い気がします。その辺ももっと考えて行政も取り組んでほしいなと考えます。住みやすい環境の提案、交通の便等。

高齢にて自分の体を維持していくのが精一杯なので次世代にゆだねたいと思います。

必ずグリーン・ツーリズムによって活性化されることを望みます

これ以上発展しません。

この中にあるような形でこの地域を活性化させるのは地理的にハンデ。住民の意識、リーダーの不在等で残念ではありますが無理だと思います。

特に思いつかない(地域のコミュニティをもっと活性させないと行けないと思う)

猿、鹿などの害獣により作物の望みなし

第1に猪などの害獣を里に来ないようにしなければ何も出来ないと思います(農作物)

東海自然歩道を整備し観光スポットをつくる

有害獣を活用したジビエの料理方法がわからない

主婦も老人も楽しく働ける場所。猪や鹿肉をつかった料理を考える。綺麗な水でコーヒーをだしたり、アマゴの養殖

企業の誘致。働ける場所があれば過疎にならない。

猿などの害獣の駆除をしてほしい。特に猿は集団で来るので危険です。恐怖を感じます

記載事項

●●を良く知る外部有識者を交えた中長期のマスタープランの作成。害獣のいない地域づくり

鳥獣害対策、除雪作業軽減、空き地農業、放棄地買い上げによる電力発電施設

地域がまとまりを持って活動できる運営が必要だと思っています。行政と一部の地区のものだけの活動にならないようにどう進めていくかが重要。地区へのマイナス面をプラスへ帰る努力が必要が求められると思います。

地域づくりを考えたことあるが行政側の一方的な方針により分校の廃止などにより地方づくりも後退せざるを得ない

最近若い人の未婚が増えている。昔のように皆が結婚できれば子供も増えて明るい地域未来になると思う

有言実行されたためしなし

ジビエ料理とブランド米をつくる(獣害対策と併せて考える)パワースポットと蛍と水

郷土芸能丸山踊りについてはこしばらく踊られていません。是非復活してほしいものです。人材の育成及び技能継承のために資金面の援助が必要かと思っています。

住むための補助(医療や居住への)が必要

働ける場所、高校の増設、山間部の道路整備

東海環状道のスマートICが出来ればこの地域の活性が加速すると思う

地域の接続関係の職人さんを下請けに雇用する(ゼネコンばかりに流さないように)癒着防止

若者達が楽し～嫌気をさして●●出て行きます

●●には子供が遊ぶ公園が無い。子育てするのに必要なのに軽くあしらわれているところがいや。「こんなところ(田舎の過疎地)」と言う高齢者が多いので考え方を改めてほしい

もっと祭りやイベント(子供が楽しめる場所)を増やしてほしい。これからの未来を背負っていくのだから。若いお母さんお父さんの交流の場にあってほしい

まずは既存の住人が住んでいて良かったと思う地区づくり、魅力のある地区づくりが必要です。そうでないと外部の人を受け入れていけない。若者～高齢者までうまく役割分担して活動することを期待する

若者が戻って来れるような町づくり。買い物、町に出るのに時間がかかり不便に思っているのですが現実です。それをいかに良くするかが問題だと思っています。

若い世代が「のこしていこう！」子供達が地元を思いやるようになるために色々取り組んでみえる地区も少なくはないと思います。それを引っ張っていく人材が多くないながらも前に出て行こうとしないのはなぜかと思っています。残念なことですね。

鳥獣害で大変困っています。また荒れ地になっているところの草刈りとかを考えてほしいです。

記載事項

この地域の良さを再認識しここを愛する人を育てること！①食料自給率のアップ②雇用創出と労働力の流出の阻止。この気候を活かしたブランド農作物栽培などを願います

地域の若い人が地域に残って生活が出来るように、今のうちに地域づくりを我々がつくりあげたい。

自治会と行政がよく話し合わなければ市民はついていけないと思う

地域の活性化は行政の助けが無いと無理です

福祉施設へも町へ行くにも午後は回送で行けず町から来ても帰りのバスがない

現在の若い世代達は地域のまとまりについてあまり興味が無く関心も薄いと思われます

もっと行政が力を出さなければならない。口では活性や福祉の充実などをうたっているが実際してないのが現状。お金をどう使われているのですか。

地域と行政が一体としてまとまらない

●●には外部の人があまりこないから無理だと思いますし来るとしてもセールスマンくらいです。

今の現状では出資してまでという気にはなれず、市等からのバックアップが必要。●●は区内に入らずバイパスで通り抜けていく人も(車も人も)

これだけの小世帯で人を惹き付ける魅力も無く交通も不便でグリーン・ツーリズムをやる意味はありますか？効果の見込みはありますか？貴重な税金、動力を無駄にしてほしくないです。

買い物等が不便なのでちょっとしたスーパー等を設けてほしいです

獅子舞、女子ソフト、運動会がなくなったため地域の情報が入りにくくなってしまった

いなべグリーン・ツーリズム推進に向けた市民意向アンケート調査

Ⅲ. データ集：数表

問1 あなたの性別をご記入ください。

1. 男性 2. 女性

(単位:人)

	男性	女性	合計
1.古田	50	52	102
2.篠立	111	121	232
3.鼎	35	39	74
4.川原	131	91	222
5.二之瀬	46	27	73
合計	372	330	703

問2 あなたの年齢をご記入ください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上

(単位:人)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	
1.古田	0	7	16	27	18	17	17	102
2.篠立	6	12	31	57	56	43	23	228
3.鼎	1	3	6	13	24	16	11	74
4.川原	5	19	33	40	73	32	20	222
5.二之瀬	1	3	13	16	35	4	1	73
合計	13	44	99	153	206	112	72	699

※4名に年齢の記載漏れあり

問3 あなたがお住まいの地域（自治会名）をご記入ください。

1. 古田地区 2. 篠立地区 3. 鼎地区
5. 川原地区 6. 二之瀬地区

前述の一覧 問1 問2で、各地区の世代と男女構成比を提示。

問4 あなたの家族構成をご記入ください。(○は1つ)

(単位:人)

1. ひとり暮らし
2. 夫婦のみ
3. 2世代(親と子)
4. 3世代(祖父又は祖母と親と子)
5. その他()

	夫婦のみ	2世代	3世代	ひとり暮らし	その他
1.古田	27	50	13	10	1
2.篠立	61	99	50	17	0
3.鼎	37	10	17	8	1
4.川原	45	80	71	15	7
5.二之瀬	17	36	18	0	1
合計	187	277	169	50	10

問5 あなたは、これからも現在の場所に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. ずっと住み続けたい
2. いなべ市内の別の場所に移り住みたい
3. 他市に移り住みたい ⇒ () 市・町・村)

(単位:人)

	ずっと住み続けたい	市内の別の場所へ移り住みたい	市外に移り住みたい
1.古田	81(82%)	10(10%)	9(8%)
2.篠立	184(81%)	27(12%)	16(7%)
3.鼎	59(88%)	5(7%)	3(5%)
4.川原	183(82%)	19(9%)	20(9%)
5.二之瀬	60(86%)	8(8%)	2(3%)
合計	567人	69人	50人

問6 地域の良いところについてお答えください。(〇は3つまで)

1. 自然が豊かである
2. 働く場所がある
3. 地域内の人間関係が良好である
4. 気楽に集えるところがある
5. 共同作業や行事がスムーズに行なわれている
6. 新たな住人が居る(増えている)
7. 特産物・特産品がある
8. 名所旧跡がある
9. 観光資源(温泉や公園など)がある
10. 農地や山林がきれいに保たれている
11. その他()
12. 特になし

(単位:票)

	自然豊か	働き場がある	人間関係良好	気楽に集える	共同作業がスムーズ	新たな住人がいる	特産品がある	名所旧跡がある	観光資源がある	農地・山林保全されている	その他	なし
1.古田	84	4	57	20	28	4	4	2	3	10	1	8
2.篠立	198	24	113	45	52	8	2	4	3	20	9	34
3.鼎	52	4	36	23	9	0	0	1	16	7	3	7
4.川原地	183	14	106	32	28	1	5	12	5	29	5	13
5.二之瀬	60	9	33	7	26	1	0	1	0	12	0	6
合計	577	55	345	127	143	14	11	20	27	78	18	68

問7

次の中から地域が抱えている課題を下の回答欄にお答えください。(3つまで)また、その課題を解決するためにはどの団体が取り組むと有効であるかお答えください。

回答は下の「回答欄」にご記入ください。

1. 集落の人口が減少している
2. 高齢化が進んでいる
3. 独居者が増えてきている
4. 子どもや若者(50歳まで)が少なくなってきた
5. 共同作業や行事が実施できない(草刈り、ごみ拾い、側溝清掃など)
6. 空き家が増えてきている
7. 窃盗(泥棒)などの被害
8. 小学校の廃校
9. 農地の耕作放棄地が増えてきている
10. 鳥獣害で困っている(追い払い、電柵維持修繕など)
11. 除雪作業に困っている
12. その他()
13. 特になし

(単位:票)

	1.人口減	2.高齢化	3.独居者	4.少子	5.共同作業できない	6.空き家	7.窃盗	8.廃校	9.J耕作放棄地	10.鳥獣害	11.除雪	12.その他	13.なし
1.古田	42	64	13	55	3	8	0	23	6	36	10	0	0
2.篠立	105	159	40	84	1	48	1	50	22	80	35	5	2
3.鼎	52	34	14	24	1	12	0	2	11	38	6	2	0
4.川原地	115	129	20	70	3	51	5	12	41	127	30	10	1
5.二之瀬	30	43	8	40	3	5	1	1	8	48	10	0	0
合計	344	429	95	273	11	124	7	88	88	329	91	17	3

問7 回答欄

番号

取り組む団体（○は1つ）

	地域住民 ・ 企業 ・ 大学 ・ 行政 地域住民と企業 ・ 地域住民と大学 ・ 地域住民と行政
--	--

(単位:票)

	地域住民	企業	大学	行政	地域住民と企業	地域住民と大学	地域住民と行政
1.人口減	45	9	0	44	39	1	156
2.高齢化	51	7	0	67	28	1	205
3.独居者	9	2	0	14	1	1	47
4.少子可	36	6	1	14	1	1	47
5.共同作業不可	1	1	0	2	2	1	1
6.空き家	11	1	0	15	9	4	64
7.窃盗	0	0	0	3	0	0	3
8.廃校	2	1	0	25	4	5	46
9.耕作放棄地増	8	1	0	10	11	2	38
10.鳥獣害	12	1	0	65	9	5	192
11.除雪	4	0	0	39	4	0	35

問8

以下の選択肢の中で、あなたが興味のあることについてお答えください。
(〇は3つまで)

1. 農作業体験や自然体験などの受入れ
2. 宿泊体験の受入れ
3. 農産物の直売所活動（日曜市や軽トラ市など含む）
4. 農産物の産地直送販売
5. 市民農園・体験農園・観光農園
6. 体験型イベントの実施
7. 農家レストランや農村カフェ（そば屋、菓子屋等も含む）
8. 地場の農産物を活用した加工品製造
9. 地場の農産物を活用した総菜や弁当製造
10. 空き家の賃貸
11. 高齢者のケア活動
12. 田・畑のオーナー制度
13. 農作業や、山竹林保全等のボランティアの受入
14. 新たな地元のお祭り（収穫祭や運動会）の開催
15. その他（

(単位:票)

	1体験受入	2宿泊体験	3直売所	4産直販売	5体験農園	6イベント	7農家レストラン	8加工製造	9総菜	10空き家賃	11高齢ケア	12オーナー制	13ボラ受け入れ	14祭り	15その他
1.古田	16	4	8	3	8	16	11	14	4	31	25	22	20	8	5
2.篠立	48	7	38	17	25	21	59	25	14	51	53	27	27	15	9
3.鼎	19	4	10	5	15	4	11	4	3	20	19	10	11	1	4
4.川原	40	3	32	25	17	21	42	28	8	40	44	43	32	31	9
5.二之瀬	7	1	2	2	3	1	9	6	2	7	13	15	17	8	5
合計	130	19	90	52	68	63	132	77	31	149	154	117	107	63	32
男性	78	16	46	25	44	39	62	42	15	74	84	76	72	40	19
女性	52	3	44	27	24	24	70	35	16	75	69	41	35	22	13

問9

今後地域でグリーン・ツーリズムを行うことになった場合、あなたは参加しますか。(回答は1つ。取り組むのは自分)

1. 自分が主体となって、積極的に参加したい
2. 外部からの支援があれば、参加したい(行政、企業、学校など)
3. 裏方でのサポートといった形で参加したい
4. 次世代にまかせたい
5. 取り組みたくない
6. その他()

(単位:人)

	自分が主体 で積極的に 参加したい	外部の支援 あれば参加 したい	裏方でサポ ート	次世代へま かせたい	取り組みたく ない	その他	無回答	
1.古田	4	21	33	21	10	5	8	102
2.篠立	6	41	86	50	24	11	14	232
3.鼎	0	15	26	19	8	1	5	74
4.川原	2	50	63	44	35	8	20	222
5.二之瀬	1	11	18	12	23	3	5	73
合計	13	138	226	146	100	17	63	703
男性	12	89	114	78	48	12	19	372
女性	1	49	111	68	52	16	33	330

問10 回答欄

番号

取り組む団体（○は1つ）

地元 ・ 企業 ・ 大学 ・ 行政

地元と企業 ・ 地元と大学 ・ 地元と行政

(単位:票)

	地域住民	企業	大学	行政	地域住民と企業	地域住民と大学	地域住民と行政
1体験受入	17	0	0	8	11	12	82
2宿泊体験	4	0	0	2	3	0	14
3直売所	26	0	0	5	16	0	40
4産直販売	9	1	0	6	15	4	25
5体験農園	1	0	0	3	14	1	48
6イベント	2	1	0	0	15	5	35
7農家レストラン	11	3	0	3	63	4	43
8加工製造	9	3	0	3	32	3	20
9総菜	3	3	0	0	21	2	7
10空き家貸	17	0	1	10	11	4	88
11高齢ケア	10	1	0	24	5	1	69
12オーナー制	10	0	0	2	13	2	73
13ボラ受け入れ	3	4	0	5	10	10	62
14祭り	31	0	0	1	7	2	28

問 11

あなたの地域で農産物の直売所などの地域事業を始めることになり、地域の方からの出資を求められた場合、あなたは出資するかお答えください。

(単位:人)

1. 出資する
2. 出資しない
3. 出資金額により、どうするかを検討する

	出資する	しない	金額により検討する	無回答
1.古田	11	26	53	12
2.篠立	17	75	116	24
3.鼎	11	28	26	9
4.川原	13	64	123	22
5.二之瀬	5	36	27	5
合計	57	229	345	72
男性	41	116	185	30
女性	16	113	160	42

問 12

地域でグリーン・ツーリズムに取り組むために必要だと思われることを以下よりお答えください。(〇は1つ)

1. 研修会や視察などの勉強会(情報)
2. 活動費などの助成(お金)
3. 活動を引っ張る地域のリーダー(人材)
4. 外部(企業や若者など)からの協力・支援(ノウハウ)
5. その他()

(単位:人)

	情報	お金	人材	ノウハウ	その他	無回答
1.古田	12	20	29	23	1	17
2.篠立	25	52	69	51	4	31
3.鼎	5	23	17	10	4	15
4.川原	33	46	64	38	6	35
5.二之瀬	11	12	17	16	4	13
合計	86	153	196	138	19	111

いなバグリーン・ツリーズ△推進計画に向けた 市民意向アンケート調査報告書	
モデル地区	川原地区、二之瀬地区、篠立地区、古田地区、鼎地区
発行日	平成27年2月18日
編集	いなへ市企画部広報秘書課 〒511-0293 三重県いなへ市員弁町笠田新田111番地 電話 0594-74-5820 http://www.city.inabe.mie.jp
協力	一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構